



5 地区別の方針

地区別の計画は、身近な地区レベルでの問題や課題に対応するため、土地利用の状況・資源・特色のまとまりとして市域を次の8つの地区に区分して、その地区のみどりの現状や課題を分析し、地区ごとに個性と魅力あるみどりあふれるふるさと秦野の将来方向を示すものです。

地区区分





(1) 本町地区

ア 地区の概要とみどりの現状

本町地区は商店街や大型小売店舗が立地し、市役所を始めとした各種公共公益施設も充実した本市の中心市街地となっています。

地区内には水無川、金目川、葛葉川が流れ、ホタルや水鳥の生息場所となっています。東側には弘法山などの豊かな自然があります。地区東部及び南部等には農地が広がっています。

しかし、身近な公園などのオープンスペースが不足しています。また、西側の工業地帯では住宅地と工業地が混在しており、環境への配慮が求められています。

イ 課題

- 水無川、葛葉川、弘法山などの自然環境資源の適切な保全・活用
- 身近な公園などのオープンスペースの確保
- 農地の保全

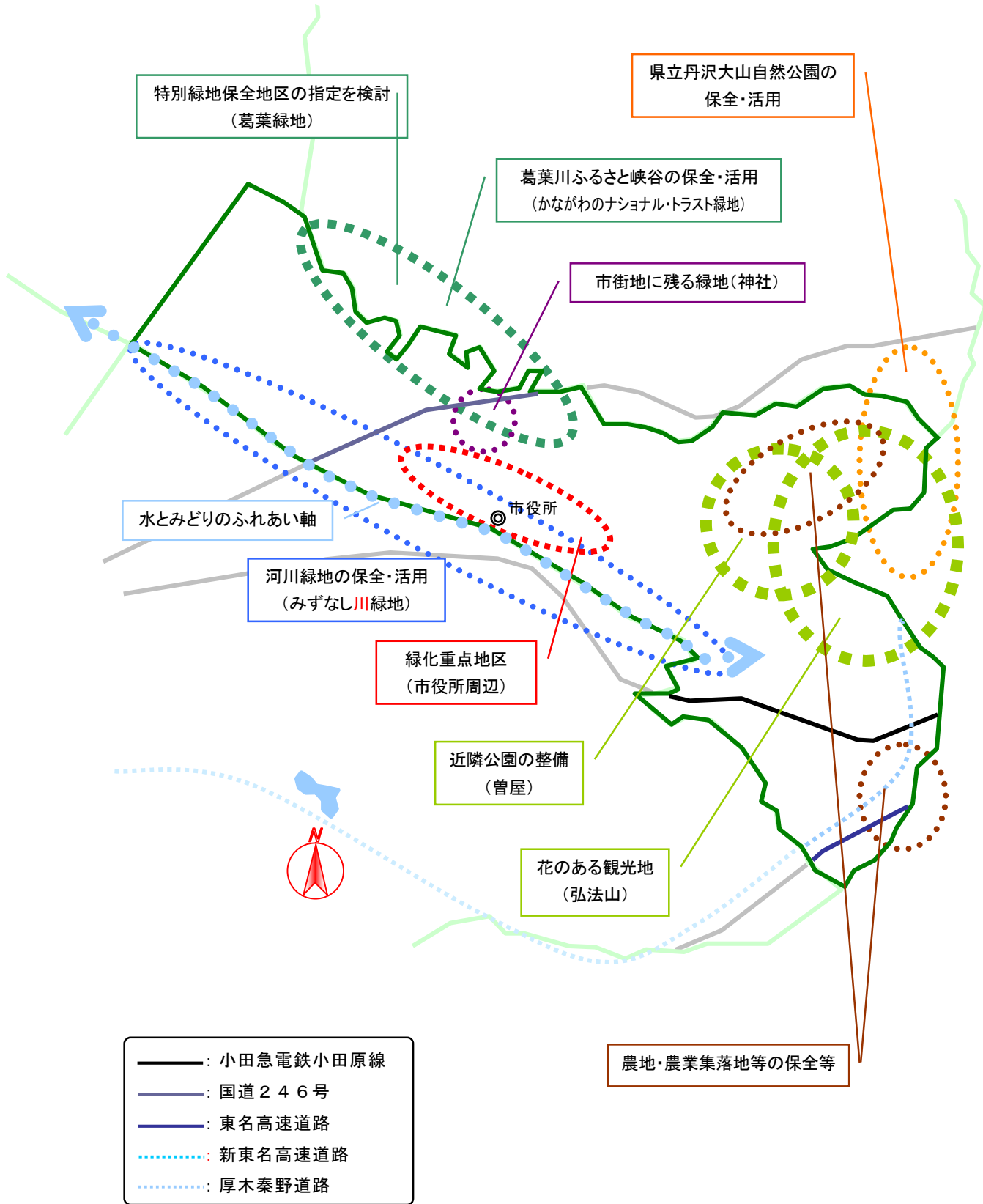
ウ 方針

- 県立丹沢大山自然公園の保全・活用
 - ・うるおいづくりの空間として保全・活用を図ります。
- 「みどりネットワーク」の保全・維持
 - ・水無川とその川辺に整備されている河川緑地の維持・保全を図ります。
 - ・みずなし川緑地の保全・活用を推進します。(水とみどりのふれあい軸)
- 葛葉川ふるさと峡谷の保全・活用
 - ・市街地に近接した身近な自然体験ゾーンとして活用を図ります。
 - ・特別緑地保全地区指定の検討をします。
- 弘法山の保全・活用
 - ・良好な生物生息空間、市街地からの眺望対象として保全を図ります。
 - ・弘法山周辺農地を活用した花のある観光地づくりを推進します。
- 市街地に残る良好な緑地の保全
 - ・曾屋神社・曾屋配水場跡地などの市街地に残る良好な緑地の保全を図ります。
- 身近な公園の整備
 - ・面的な整備を行う場合には、身近な公園の整備を図ります。
- 農地の保全等
 - ・地区東部及び南部等の集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。





本町地区方針配置図





(2) 南地区

ア 地区の概要とみどりの現状

南地区は小田急線秦野駅を中心に市街地を形成し、秦野市カルチャーパークには、秦野中央運動公園や文化会館、図書館、総合体育館など本市の文化・スポーツ施設が集積しています。秦野駅南部を始めとして、土地区画整理事業により市街地が整備されています。

弘法の清水や荒井湧水などの湧水が点在し、その南側には震生湖や渋沢丘陵の豊かな自然が広がっています。地区内を流れる室川沿いには良好な樹林地があるほか、ゲンジボタルの生息がみられます。市街地内には多くの生産緑地があります。

イ 課題

- 農地や渋沢丘陵の斜面緑地の保全
- 水無川、震生湖、湧水群などの水環境の適切な保全・活用
- 沿道の緑化などによる市街地内の緑の創造

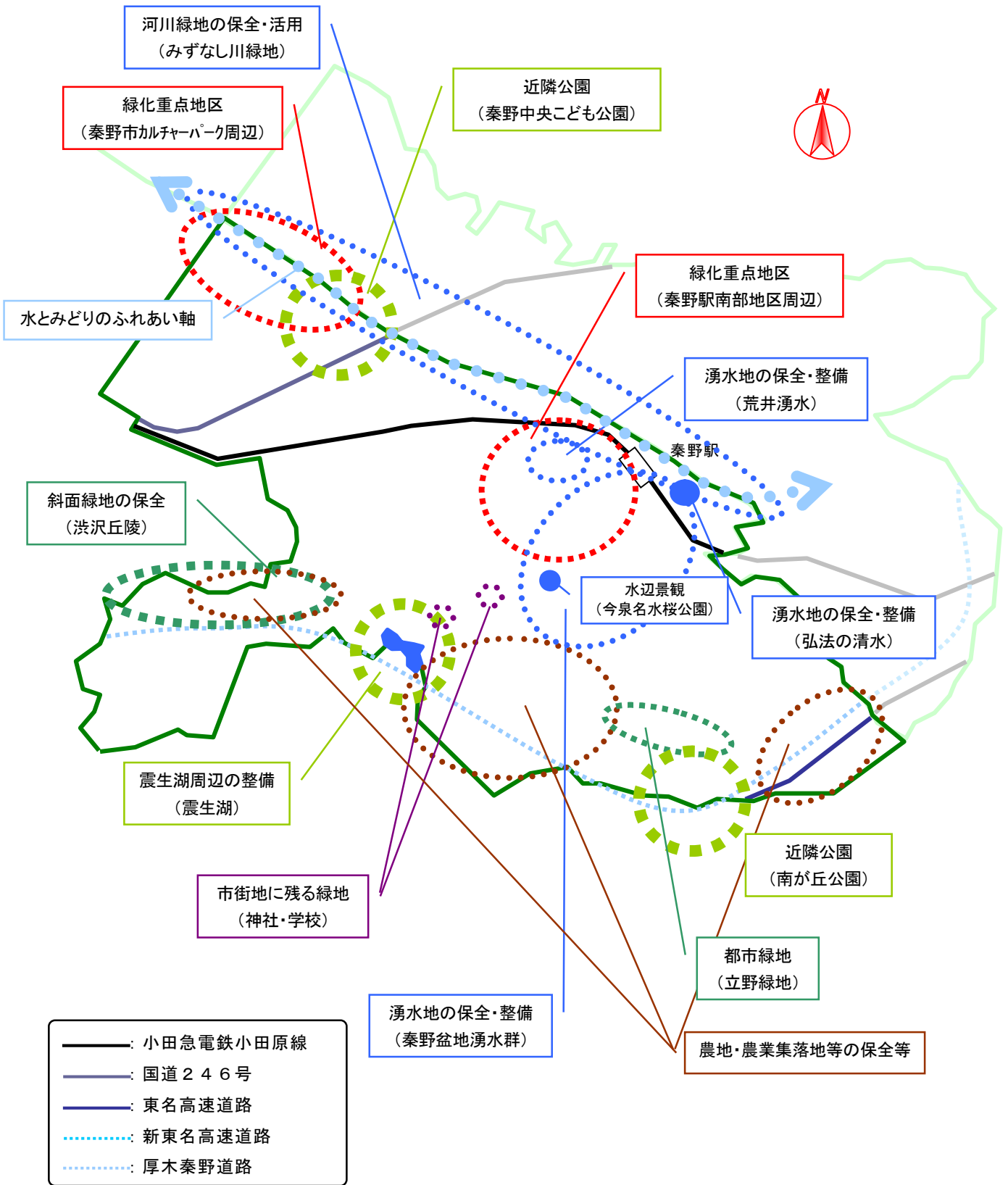
ウ 方針

- 渋沢丘陵の保全
 - ・景観上重要となる斜面緑地の保全・活用を図ります。
 - ・ボランティア団体等による里山林の保全活動に対して支援します。
- 「みどりネットワーク」の保全・維持
 - ・水無川とその川辺に整備されている河川緑地の維持・保全を図ります。
(水とみどりのふれあい軸)
- 湧水・谷戸田の保全・活用
 - ・弘法の清水周辺の再整備を進めます。
 - ・多様な生物の生息環境として湧水地や谷戸田を保全する「生き物の里」に指定するとともに、自然とふれあうことのできる場として活用を図ります。
 - ・多様な生物の生息環境として湧水地や谷戸田を保全する「生き物の里」に指定するとともに、自然とふれあうことのできる場として活用を図ります。
- 震生湖周辺整備の推進
 - ・景観、文化財、観光要素として貴重な資源である震生湖の自然環境を保全・活用していくため、震生湖周辺整備を推進します。
- 市街地に残る良好な緑地の保全
 - ・室川沿いの溪谷の緑や白笹神社周辺の緑、南小学校のソメイヨシノなど、市街地に残る良好な緑地の保全を図ります。
- 農地の保全等
 - ・営農環境を維持するため、農地の保全に努めます。





南地区方針配置図





(3) 東地区

ア 地区の概要とみどりの現状

東地区は丹沢から続く樹林地や農地が広がり、市街地は比較的地形の緩やかな地区の南側に広がっています。

地区北部及び東部は丹沢大山国定公園及び県立丹沢大山自然公園の指定により自然環境が保護され、市街地周辺には豊かな田園風景が広がっています。その中に東田原中丸遺跡や源実朝公御首塚などの歴史資源が数多く存在するほか、春嶽湧水や護摩屋敷の水など、湧水も豊かです。首都圏自然歩道やハイキングコースが設定され、また自然観察の森があり、丹沢の自然とのふれあいを楽しむことができます。しかし、丹沢の植林地の荒廃や野生動物による農作物への被害がみられます。地区南部の住宅地の中に葛葉峡谷のまとまった緑が残されています。

イ 課題

- 丹沢の自然の適切な保全・活用
- 歴史的・文化的資源と一体となったみどりの保全
- 葛葉川ふるさと峡谷の保全・活用
- 農地の保全・有効活用

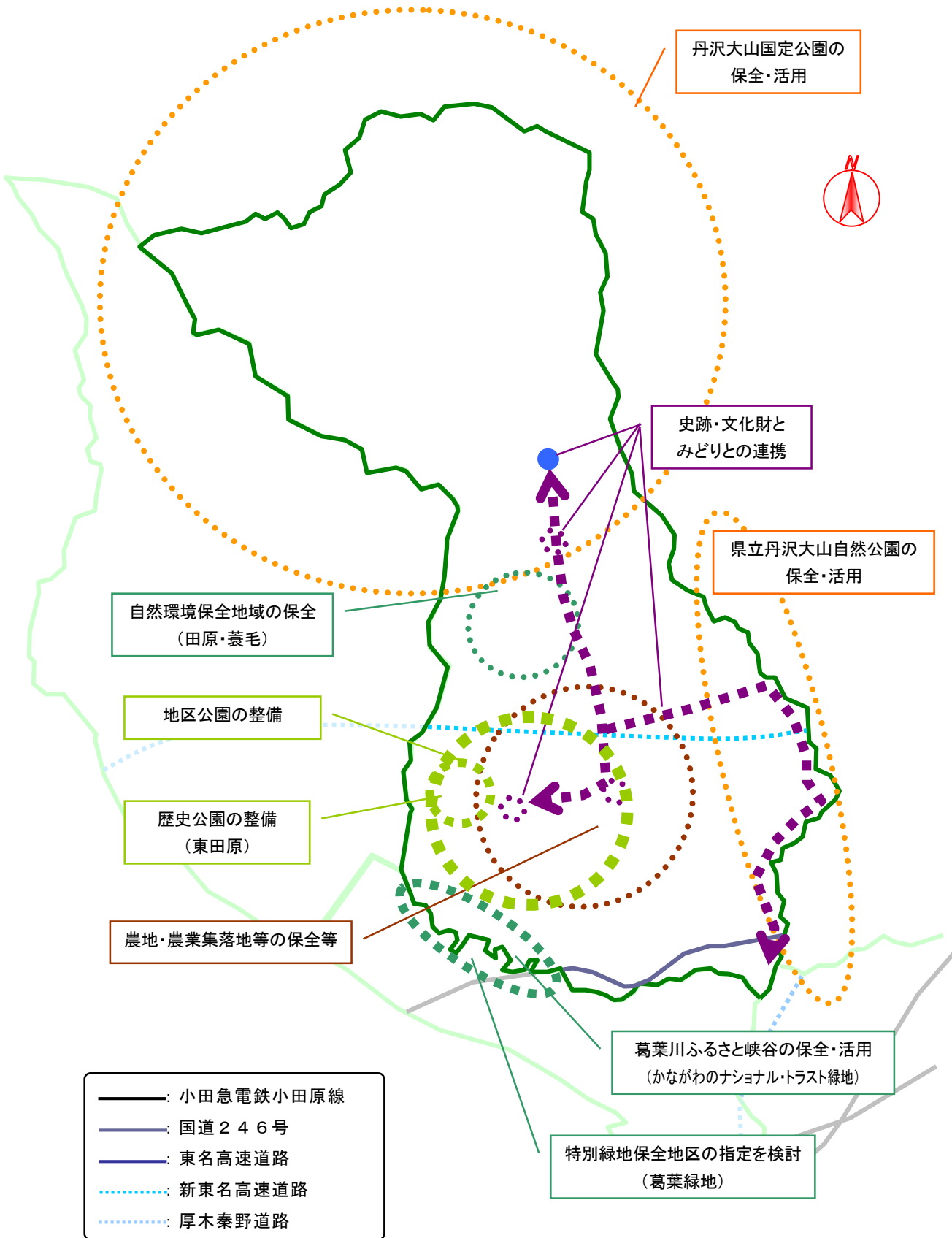
ウ 方針

- 丹沢大山国定公園・県立丹沢大山自然公園の豊かな緑地の保全・活用
- 地区内の史跡・文化財とみどりとの連携を図った活用
 - ・源実朝公御首塚・東田原中丸遺跡・大日堂等の地区内の史跡・文化財を保護し、一体となったみどりを保全・活用することによって、秦野の歴史・文化を感じることでできる空間づくりを進めます。
 - ・地区内の自然環境資源と歴史的・文化的資源を結ぶハイキングルートの整備を図ります。
- 葛葉川ふるさと峡谷の保全・活用
 - ・市街地に近接した身近な自然体験ゾーンとして活用を図ります。
 - ・特別緑地保全地区の指定を検討します。
- 里地里山の保全再生
 - ・ボランティア団体等による里山林の保全活動に対して支援します。
 - ・農林業団体等がヤマビル対策として行う林内整備に対して支援します。
- 農地の保全等
 - ・田原ふるさと公園の活用を推進し、市民の農業に対する理解や都市住民との交流を深める場を創出します。
 - ・集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。





東地区方針配置図





(4) 北地区

ア 地区の概要とみどりの現状

北地区は土地利用の約75%が樹林地・農地等で、丹沢の森林や農地が広がる良好な自然景観となっており、石仏などの歴史的資源が点在しています。

地区内を流れる葛葉川や新田川は良好な河川環境を有しており、ホタルやカモなどの生息環境となっています。地区西部では、丹沢の自然を活用した広域公園となる県立秦野戸川公園があります。

イ 課題

- 丹沢の自然の適切な保全・活用
- 水無川等の良好な河川環境
- 里地里山や農地の保全・有効活用

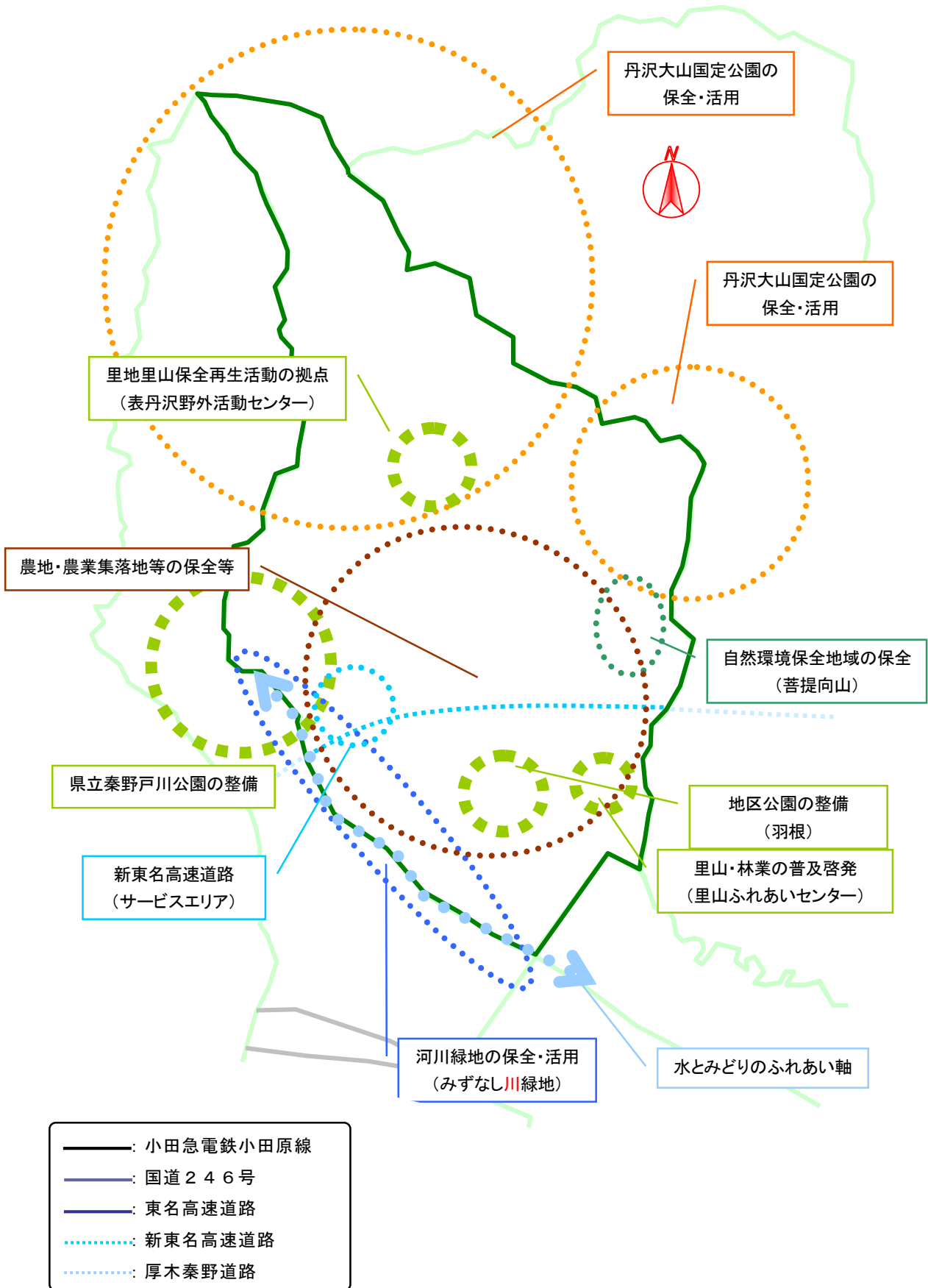
ウ 方針

- 丹沢大山国定公園の豊かな緑地の保全・活用
- 「みどりネットワーク」の保全・活用
 - ・水無川とその川辺に整備されている河川緑地と県立秦野戸川公園との連携を図ることにより活用を図ります。(水とみどりのふれあい軸)
- 県立秦野戸川公園の整備
 - ・丹沢の自然や周囲の田園景観を生かし、地域の文化や自然とふれあうことのできる公園として整備を促進します。
- 里地里山の保全再生及び林業思想の普及
 - ・「里山ふれあいセンター」「表丹沢野外活動センター」における里地里山の保全再生活動及び林業思想の普及を推進します。
 - ・ボランティア団体等による里山林の保全活動に対して支援します。
 - ・農林業団体等がヤマビル対策として行う林内整備に対して支援します。
- 農地の保全等
 - ・家族で気楽に楽しむことのできる観光農業等を推進します。
 - ・集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。





北地区方針配置図





(5) 大根地区

ア 地区の概要とみどりの現状

大根地区は、秦野盆地の外にあり、弘法山の南面に位置し、市街地を取り囲むように樹林地や農地が広がっています。

地区内には、東海大学や東海大学前駅があり、駅周辺は商業地となっています。

弘法山は、大根地区のシンボリックな緑地となっていますが、森林の荒廃や野生動物による農作物への被害がみられます。

イ 課題

- 弘法山の保全・活用
- 社寺林の保全
- 農地の保全
- 緑豊かな駅前空間の創出

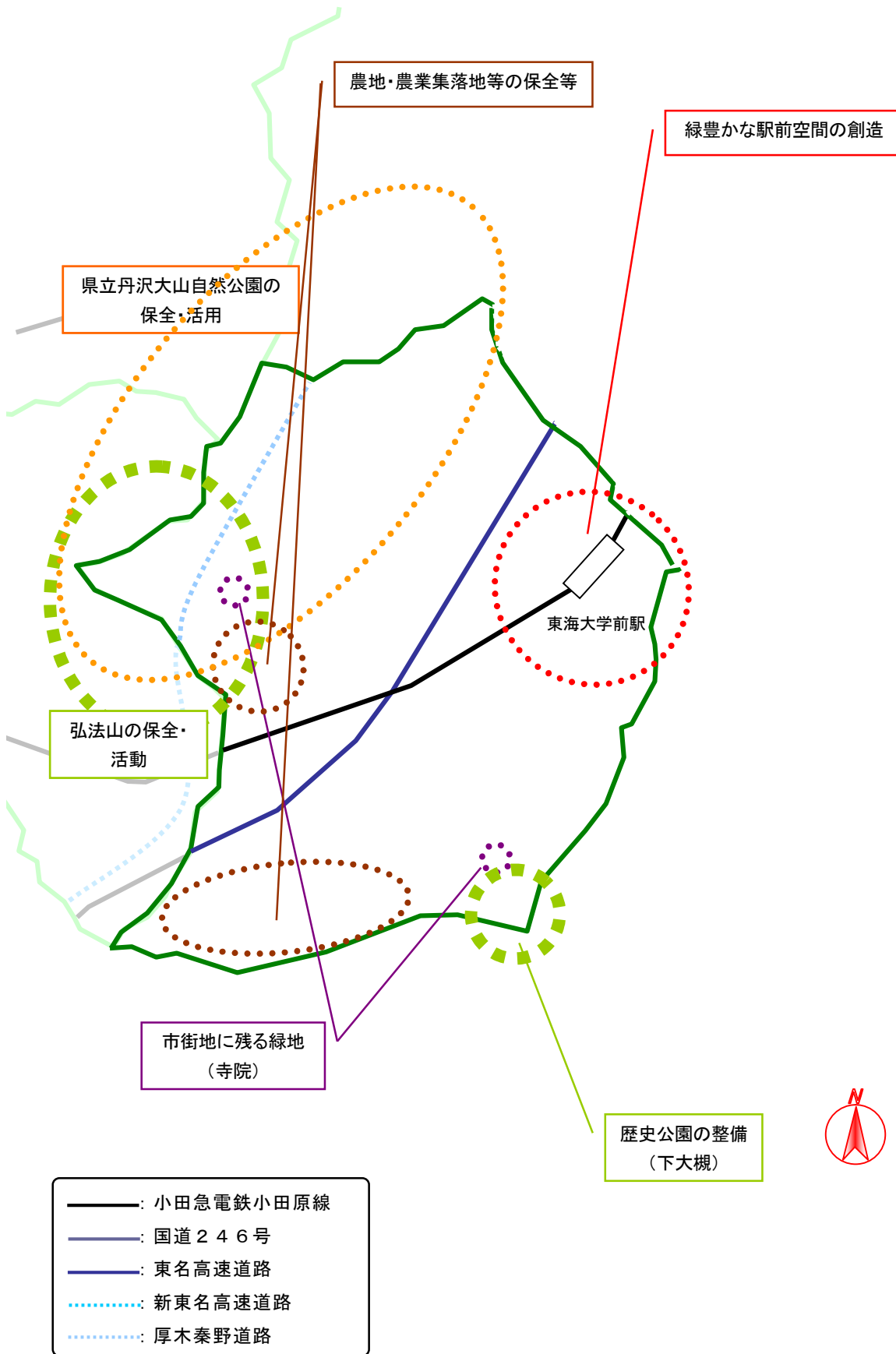
ウ 方針

- 弘法山の保全・活用
 - ・良好な生物生息空間、市街地からの眺望対象として保全を図ります。
 - ・大根川源流域湧水の保全・活用を図ります。
- 県立丹沢大山自然公園の保全・活用
 - ・地区北側に広がる豊かな緑地の保全・活用を図ります。
- 社寺林の保全
 - ・東光寺薬師堂、龍法寺等の良好な社寺林の保全を図ります。
- 農地の保全
 - ・弘法山周辺及び地区南部の集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。
- 緑豊かな駅前空間の創出
 - ・各駅周辺のもつ地域特性を生かす空間づくりを進めるため、効果的な緑化を推進します。





大根地区方針配置図





(6) 鶴巻地区

ア 地区の概要とみどりの現状

鶴巻地区は本市の最も東側に位置し、秦野盆地の外にあり、伊勢原市や平塚市と隣接しています。

市街地内には県の天然記念物に指定されている鶴巻の大ケヤキや社寺林を中心とした良好な緑が残され、温泉地という地域特性があります。

台風、大雨等による浸水被害が課題となっています。

イ 課題

- 社寺林・大ケヤキの保全
- スポーツ・レクリエーション拠点の形成
- 農地の保全
- 緑豊かな駅前空間の創出

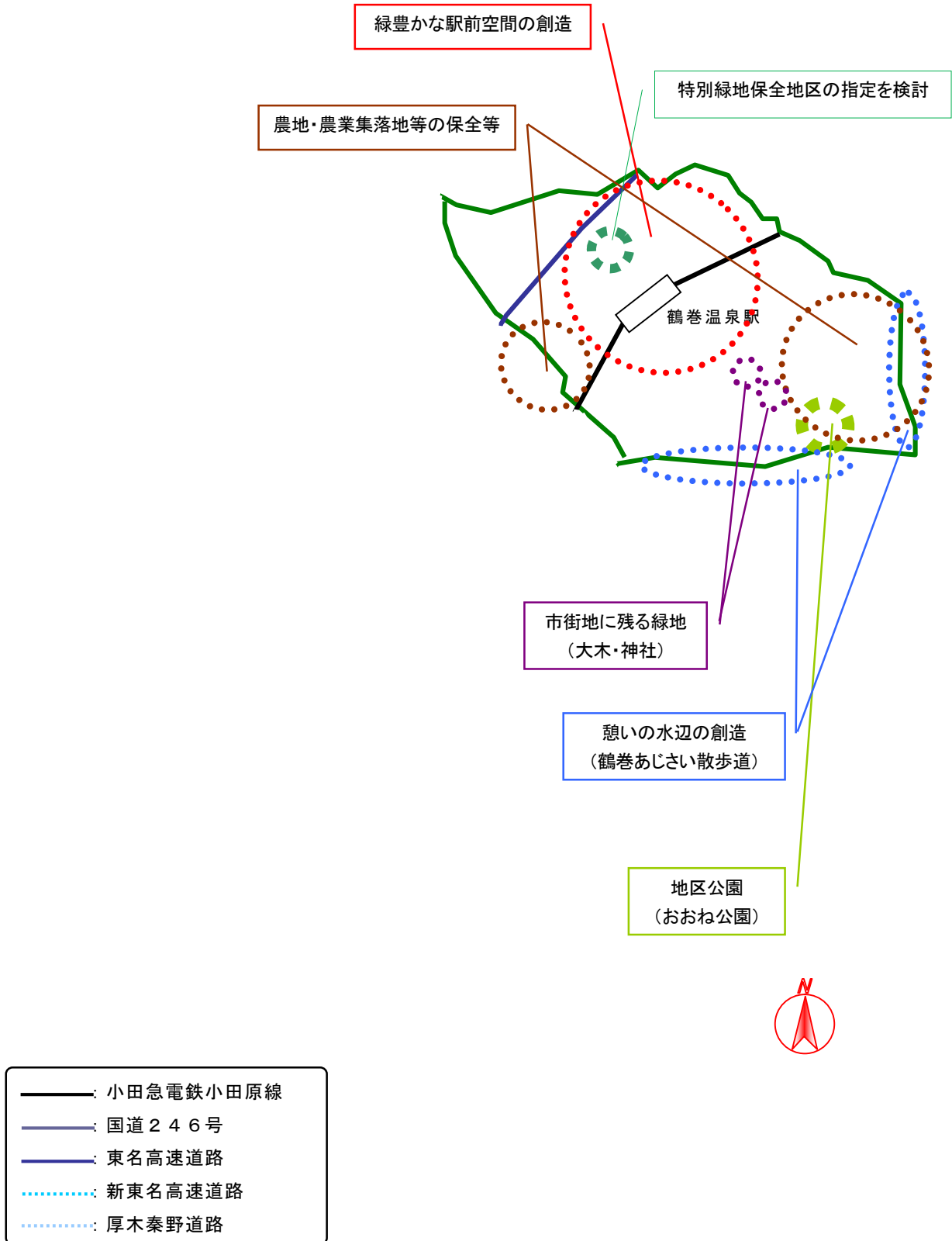
ウ 方針

- 社寺林・大ケヤキの保全
 - ・落幡神社等の良好な社寺林の保全を図ります。
 - ・県天然記念物の鶴巻の大ケヤキを引き続き保全していきます。
- おおね公園を核としたスポーツ・レクリエーション拠点の形成
 - ・おおね公園は、気軽に水とのふれあいやスポーツを楽しむことのできる拠点として、今後も維持していきます。
 - ・おおね公園周辺の河川は、地域との協働で進める「鶴巻あじさい散歩道」や川の清掃・草刈りを通し、散歩などを楽しむことのできる水辺の創造を目指します。
- 農地の保全等
 - ・地区西部及び東部の集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。
- 緑豊かな駅前空間の創出
 - ・各駅周辺のもつ地域特性を生かす空間づくりを進めるため、効果的な緑化を推進します。
 - ・特別緑地保全地区の指定を検討します。





鶴巻地区方針配置図





(7) 西地区

ア 地区の概要とみどりの現状

地区内には渋沢駅を中心とした市街地が広がり、各種商業・業務施設が立地しています。堀山下地区の南部には規模の大きな工場も立地する工業地が形成されています。渋沢駅周辺では、生活環境の向上と商店街の活性化を図るため、土地区画整理事業が施行されています。

上地区との境界を流れる四十八瀬川は良好な水辺環境を有しており、地区のシンボリック的存在となっています。丹沢の自然を生かした県立秦野戸川公園が整備中です。西地区は本市の中でも農業が盛んな地域であり、「ふれあい農園」などの観光農業も行われています。

イ 課題

- 丹沢の自然の適切な保全・活用
- 四十八瀬川や水無川、室川などの良好な河川環境の保全
- 渋沢丘陵の保全
- 農地の保全・有効活用

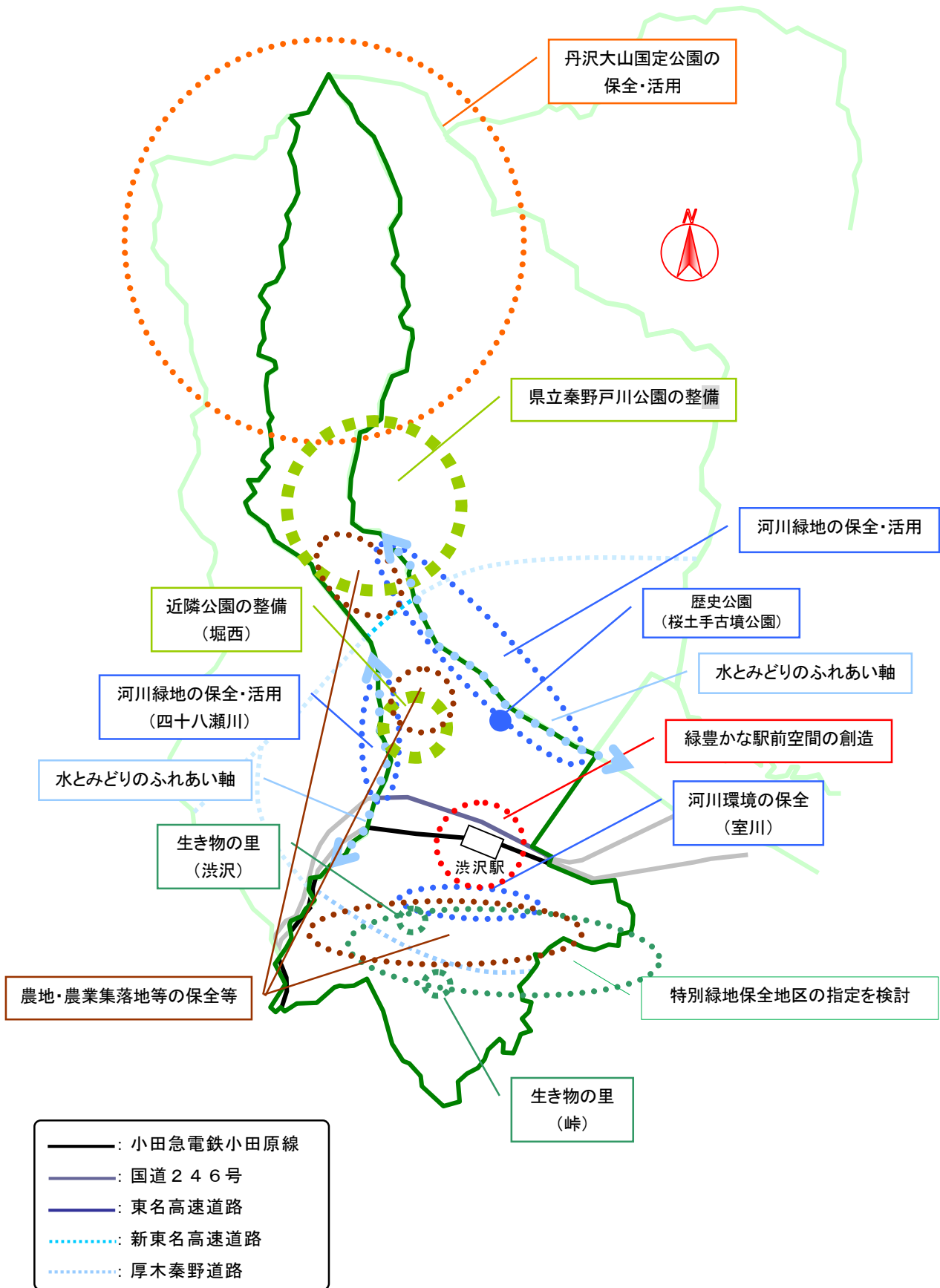
ウ 方針

- 丹沢大山国定公園の豊かな緑地の保全・活用
- 「みどりネットワーク」の保全・活用
 - ・水無川とその川辺に整備されている河川緑地と県立秦野戸川公園との連携を図ることにより活用を図ります。(水とみどりのふれあい軸)
- 県立秦野戸川公園の整備
 - ・丹沢の自然や周囲の田園景観を生かし、地域の文化や自然とふれあうことのできる公園として整備を促進します。
- 水に親しめる河川環境の整備
 - ・四十八瀬川の才戸橋から甘柿橋までの川辺やその周辺を「みどりネットワーク」のひとつとして、自然環境及び景観面から保全するとともに、市民にゆとりとうるおいを与える水辺環境として、整備手法も含めた活用策を検討します。(水とみどりのふれあい軸)
- 渋沢丘陵の保全
 - ・景観上重要となる斜面緑地の保全・活用を図ります。
 - ・ボランティア団体等による里山林の保全活動に対して支援します。
 - ・頭高山周辺の整備事業を進めます。
 - ・生き物の里(渋沢・峠)の指定を継続し、地域との連携による保全活動を推進します。
 - ・特別緑地保全地区の指定を検討します。
- 近隣公園の整備
 - ・身近な公園として近隣公園を整備します。
- 農地の保全等
 - ・集団的な農地等は生産環境の向上及び保全に努め、市街化区域内の農地は生産緑地制度の活用等により農地の保全に努めます。
 - ・家族で気楽に楽しむことのできる観光農業等を推進します。
- 緑豊かな駅前空間の創出
 - ・駅周辺のもつ地域特性を生かす空間づくりを進めるため、効果的な緑化を推進します。





西地区方針配置図





(8) 上地区

ア 地区の概要とみどりの現状

上地区は秦野市の最も西側に位置し、地区面積の約81%が農地・山林で、豊かな自然の中に集落が点在しています。

西地区との境界を流れる四十八瀬川は良好な水辺環境を有しており、地区のシンボリック的存在となっています。地区北部は丹沢大山国定公園に指定され、豊かな自然が保護されています。表丹沢県民の森では豊かな丹沢の自然とふれあうことができます。柳川や三廻部などの谷戸田ではホタルの生息環境が残されており、柳川地区の谷戸田は「生き物の里」の第1号に指定されています。耕作放棄された農地が増加しています。

イ 課題

- 丹沢の自然の適切な保全・活用
- 四十八瀬川の良好な河川環境の保全
- 農地の保全・有効活用

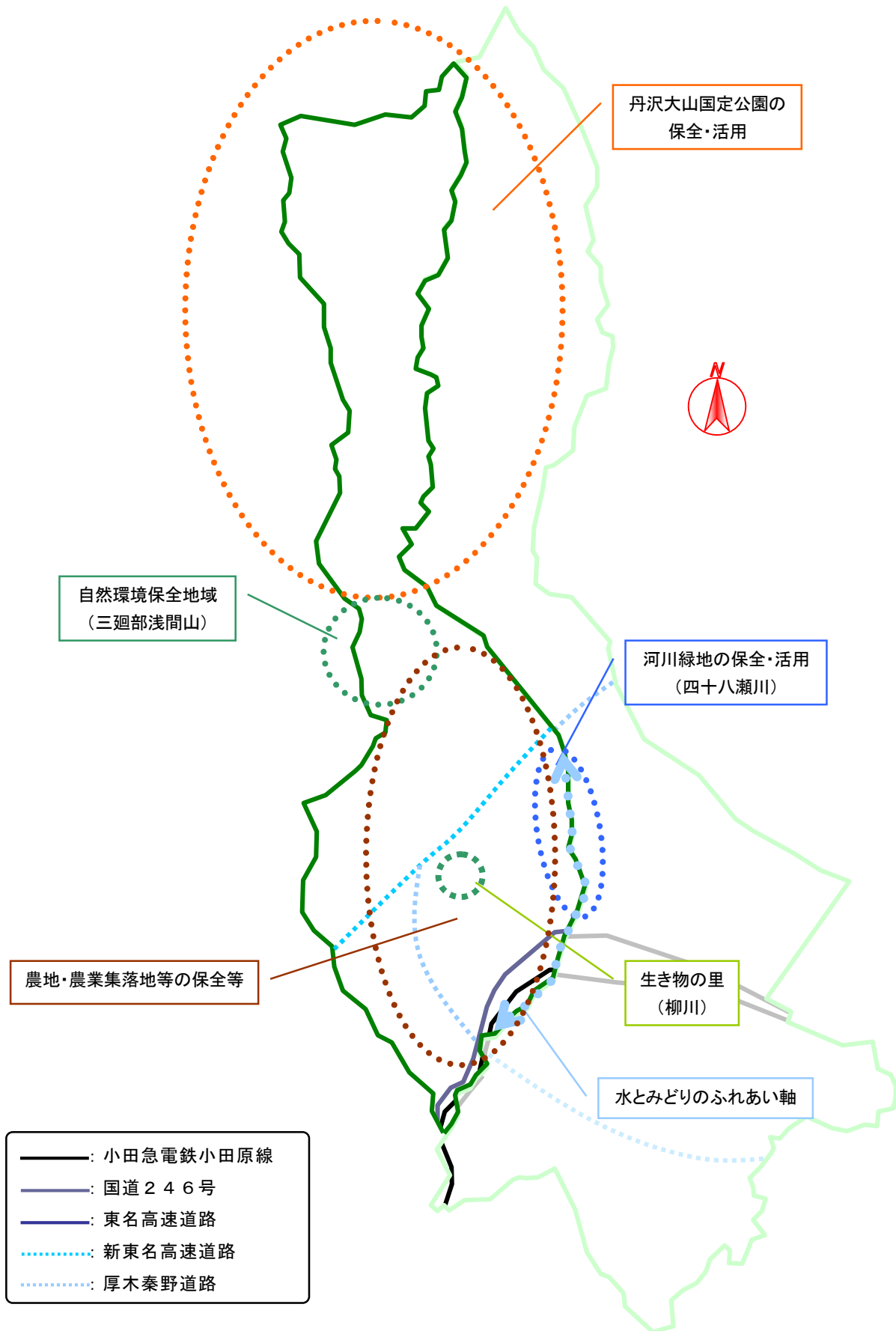
ウ 方針

- 丹沢大山国定公園の豊かな緑地の保全・活用
- 水に親しめる河川環境の整備
 - ・四十八瀬川の才戸橋から甘柿橋までの川辺やその周辺を「みどりネットワーク」のひとつとして、自然環境及び景観面から保全するとともに、市民にゆとりとうるおいを与える水辺環境として、整備手法も含めた活用策を検討します。
- 里地里山の保全再生
 - ・ボランティア団体等による里山林の保全活動に対して支援します。
 - ・柳川地区の「生き物の里」を地元住民・ボランティアと協働して、引き続き保全していきます。
- 農地の保全等
 - ・自然環境資源や遊休農地の利活用による地域振興を図るため、農業体験や農村体験等の家族で気軽に楽しむことのできる観光農業を推進します。





上地区方針配置図





第4章 秦野市生物多様性地域戦略

1 生物多様性地域戦略の策定にあたって

(1) 地域戦略の目的

私たちは、地球の生態系の一部として、他の生物と共存し支え合って生きています。しかし、人間の活動による生物の生育環境の悪化や生態系の破壊などで、種の絶滅速度は異例の速度で進行しています。

このような事情を背景に、平成4年（1992年）5月にケニアで開催された合意テキスト採択会議において「生物多様性条約※」が採択され、日本は、平成5年（1993年）に締結しました。

平成20年（2008年）には、生物多様性基本法が制定されたことで、各自治体においても、地域の生物多様性の保全等について取り組む地域戦略（生物多様性地域戦略）の策定が努力義務とされました。

私たちの生活は、生物多様性から多くの恩恵を受け成り立っています。

地域戦略は、一人ひとりが環境問題について振り返り、生物多様性の考え方を社会に浸透させることを目的としています。

※「生物多様性条約」

生物多様性の保全、生物多様性の構成要素の持続可能な利用、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を目的とする条約

(2) 地域戦略の期間

「秦野市みどりの基本計画」の計画期間に合わせて、令和3年度から令和7年度とします。

2 生物多様性

(1) 生物多様性とは

約46億年にわたる地球の歴史の中で、地球上の生物は、様々な環境に適応し、進化し、多種多様な生物が生まれてきました。これらの生物には、一つひとつに個性があり、地球上に生きる全ての生物が、直接的または間接的に支え合って生きています。これが「生物多様性」です。

この生物多様性が、私たちに豊かな自然の恵みをもたらしています。

生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つの多様性をあげています。

ア 生態系の多様性

山、樹林地や河川など、様々な環境が存在し、それぞれの環境に適した生物により、多様な生態系が存在することです。

イ 種間（種）の多様性

様々な動物、植物、細菌等の生物が生息・生育していることです。





ウ 遺伝子の多様性

同じ種類の動物や植物でも、地域により形態や模様、生態などが異なります。このように遺伝子のレベルで多様な違いがあることです。

(2) 生態系サービス

私たちの生活に欠かせない酸素や水、食料などは、生物多様性が私たちに与えてくれる恵みであり、この恵みを「生態系サービス」として、次の4つに分類しています。

ア 供給サービス

豊かな土壌によって作られる農作物、石油などの燃料や木材、薬品の提供など、私たちの生活に重要な資源を供給するサービスです。

イ 調整サービス

植物や土壌などによる水質改善、森林などの生態系による気候の調整や自然災害の防止・緩和と言った、環境を安定・制御するサービスです。

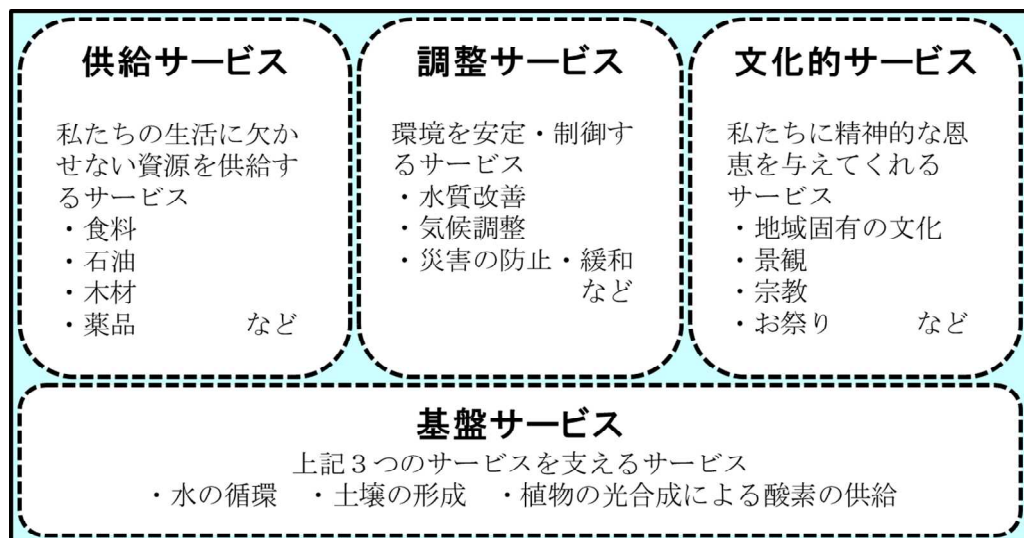
ウ 文化的サービス

国や地域ごとに、生態系や気候は様々です。それらの違いは、地域固有の文化や景観、習慣などを育み、私たちの生活に精神的な恩恵を与えているサービスです。

エ 基盤サービス

水の循環、土壌形成、植物の光合成など、他の3つの生態系サービスを支えるサービスです。

【生態系サービス】



(3) 生物多様性の4つの危機

私たちの生活に様々な恵み（生態系サービス）を与えてくれる生物多様性には、4つの危機があるとされ、人間の活動による影響が主な原因であ





ると考えられています。種の絶滅速度は、自然状態での速度に比べて遥かに早く、多くの生物が危機に瀕しています。

ア 第1の危機（人間の活動による影響）

高い成長量が期待できる人工林への拡大造林、開発に伴う森林伐採や、埋め立て工事等による生息、生息地の破壊など。

イ 第2の危機（自然に対する人間の働きかけの縮小による影響）

エネルギー構造の変化による新炭林の管理不足や里地里山の荒廃※など。

ウ 第3の危機（人間により持ち込まれたものによる影響）

人間による活動で、外来種や化学物質などが持ち込まれることによる生態系への影響など。

エ 第4の危機（地球環境の変化による影響）

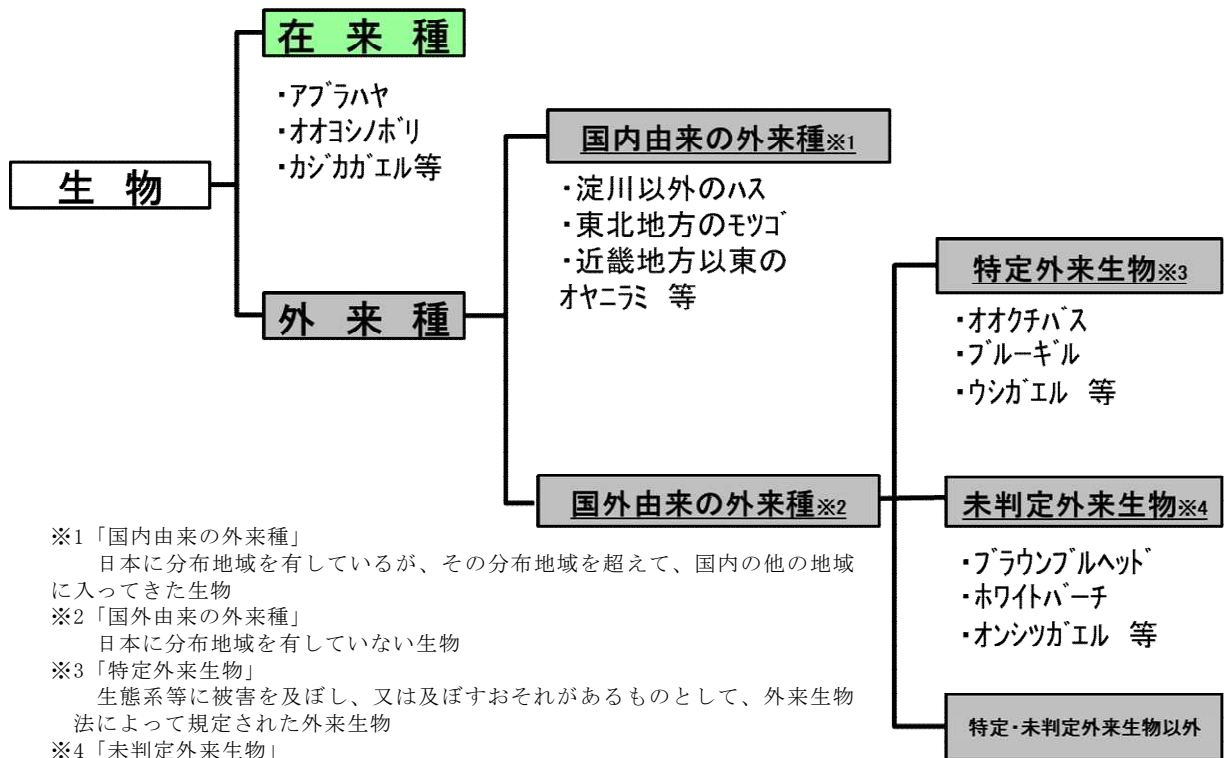
地球温暖化、極端な気象現象などの環境の変化により、それに適応できない生物や生息・生育場所の移動ができない生物への影響など。

※「里地里山の荒廃」

本市においても、里地里山の荒廃で、シカやイノシシ等の農作物への被害や、ヤマビルの生息地の拡大が問題とされています。

(4) 外来種

本来の分布地域に生息していた生物（在来種）に対し、人間の活動等により人為的に持ち込まれた生物を外来種としています。



※1「国内由来の外来種」
日本に分布地域を有しているが、その分布地域を超えて、国内の他の地域に入ってきた生物

※2「国外由来の外来種」
日本に分布地域を有していない生物

※3「特定外来生物」
生態系等に被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして、外来生物法によって規定された外来生物

※4「未判定外来生物」
生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす疑いがあるか、実態がよく分かっていない生物





3 生物調査

人間の活動や環境の変化により、生物多様性が失われつつあります。貴重な生物多様性を保全するためには、私たちを取り巻く環境の中で、どのような生物が生息しているのか、その現状を把握する必要があります。

地域環境を代表する指標生物※1は、現状を把握するための「ものさし」として活用することができます。今回実施した生物調査では、平成22年(2010年)に実施した生物調査※2を参考に指標種や調査地を選定しました。

調査結果を比較することで、環境の保全や変化を把握することができるため、生物多様性地域戦略の策定にあたり、令和元年から2年にかけて生物調査を実施しました。

(1) 調査方法

市内に点在する水田・雑木林（26箇所）、本来の潜在自然植生が残る社寺林及び市街化地区の公園（10箇所）、市内を流れる河川（15箇所）で生物調査を実施し、指標生物の有無を記録しました。

なお、既に調査資料がある場合には、調査資料を参考にしています。

調査期間は、令和元年8月から令和2年11月末までとし、季節や昼夜など条件を変えて複数回以上実施しました。

生物の確認方法は、捕獲、目視、鳴き声、痕跡、死骸とし、水中の生物については、網による採集を行いました。その場での同定※3が難しい場合は、写真等により記録し後日、調査の上、同定を行いました。

また、調査日に確認できた生物を記録したものであり、記録が無いことが、その動植物の存在を否定するものではありません。

※1「指標生物」

秦野市生物多様性地域連携保全活動計画の指標生物（平成22年4月）を参考に、雑木林、水田でそれぞれ25種選定し、指標生物とは別に外来種・要注意種も確認項目に加えました。河川の指標生物については、相模川及び酒匂川水系で5年毎に実施されている神奈川県民参加型調査の動植物57種にアメリカザリガニ、ウシガエルなどの外来種を追加しました。

※2「平成22年(2010年)に実施した生物調査」

秦野市自然環境調査報告書（環境保全活動拠点19箇所の結果報告）

※3「同定」

生物の分類でどこに属するか決めることです。





【指標種一覧】

(水田・雑木林の指標種一覧表)

No.	指標種			
	水田		雑木林	
	植物	動物	植物	動物
1	オモカ	ヤマアカエ	カンアヒ	アオシマ
2	ヘラオモカ	ニホアカエ	ヒトリシ	モキア
3	ミスオハコ	トウヨウ	フタシ	ジヤコウ
4	ヒカンバナ	シュレケ	ウシマ	オム
5	コガマ	ツカ	ホヤク	マラ
6	コサ	ニホイ	ホトキ	クノ
7	タラシ	トシ	ヤマ	ハヒ
8	キク	ホトシ	キラン	フハ
9	ワレ	タウ	キンラン	ハシ
10	アハ	ミス	エビ	ク
11	チョウ	ヒメ	ジュ	エ
12	ミツ	シマ	オハ	ト
13	サケ	オニ	ワ	ニホ
14	ミシ	ハク	ニリン	ア
15	ノミ	シカ	ク	シ
16	ツリ	ケン	ワ	ヒ
17	ムサ	ヘ	ウ	ハ
18	ミツ	ガ	イ	オ
19	ツカ	シマ	リ	カ
20	ミツ	サ	ワ	ク
21	ノア	マ	ア	ワ
22	コ	カ	キ	ス
23	カ	サ	カ	カ
24	タ	シ	ワ	コ
25	セ	カ	シ	タ
外来種	セ	ウ	カ	ア
	オ	カ	セ	ア
	ア	ア	ア	ム
	オ	サ	マ	カ
その他				ク
				ワ





(河川の指標種一覧表)

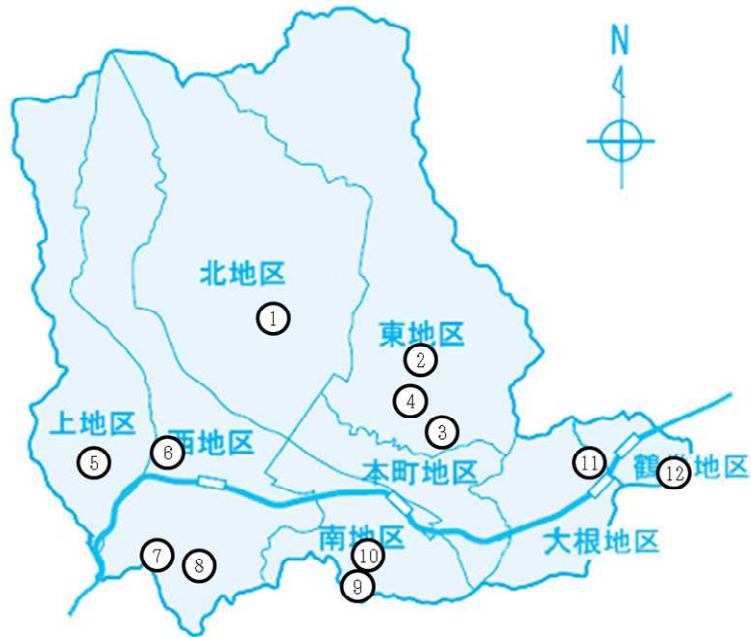
No.	指標種	No.	指標種	No.	指標種
1	ナミウスムシ	24	シマトジヨウ	47	カラハハコ
2	カマナ	25	ヤマメ・アマコ	48	カラヨモキ
3	サガニ	26	カマキリ	49	カラケツメイ
4	ヒラタガエの仲間	27	ガシカ	50	セリ
5	モンガエの仲間	28	ホウスハゼ	51	カサミ
6	カゲラの仲間	29	ウキコリ	52	カカラス
7	コニヤマ	30	ヨシホリの仲間	53	カワ
8	ホニヤマ	31	シマヨシホリ	54	サキ類
9	ムカシホ	32	ヒメ	55	キキレイ
10	ヘイトホの仲間	33	サバメ	56	ガシカイル
11	シマトビケラの仲間	34	ホシキノサメ	57	タコカイル
12	ヒゲナガカビゲラの仲間	35	スズキ	外来種	材カタメ
13	ナレトビケラの仲間	36	サキ		コカタメ
14	カツトビケラの仲間	37	ヨシ		ハリエンジュ
15	アミカの仲間	38	ツルヨシ		シダレスクマヤ
16	ゲンジホ	39	クサヨシ		アルチバリ
17	イビルの仲間	40	マコメ		材サメ
18	ミスムシ	41	ヤキ類		アメリカザリガニ
19	ナガヒ・シヒの仲間	42	材イタダ		ウシカイル
20	ヌマヒの仲間	43	ミゾソバ		材カチシヤ
21	アブラヤ	44	フサクラ		ミシシッピアカミミガメ
22	ウグイ	45	ヒメレンゲ		
23	カマツカ	46	タコノアシ		





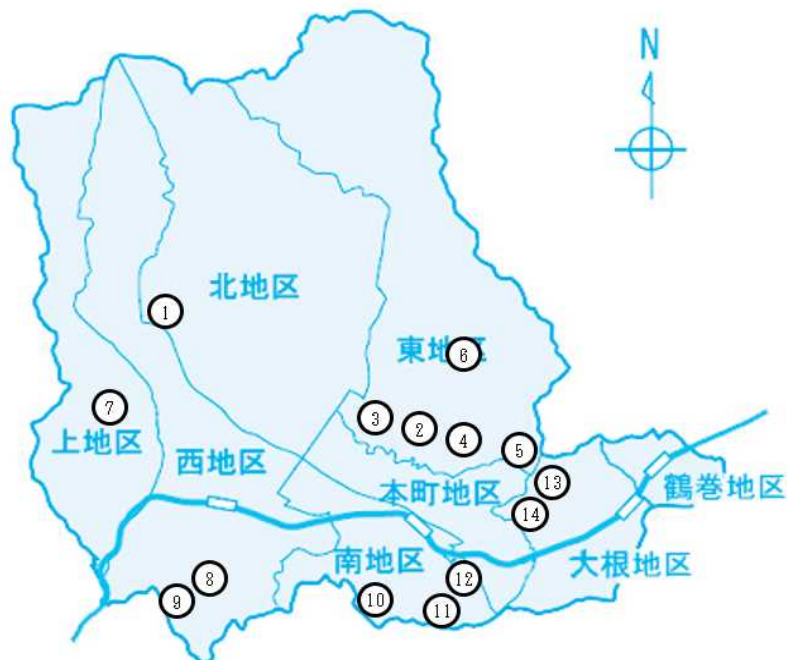
【調査箇所一覧】

(水田)



- ①菩提 ②東田原 ③名古屋 ④名古屋 ⑤柳川 ⑥堀西 ⑦千村
 ⑧渋沢 ⑨今泉 ⑩今泉 ⑪北矢名 ⑫鶴巻

(雑木林)

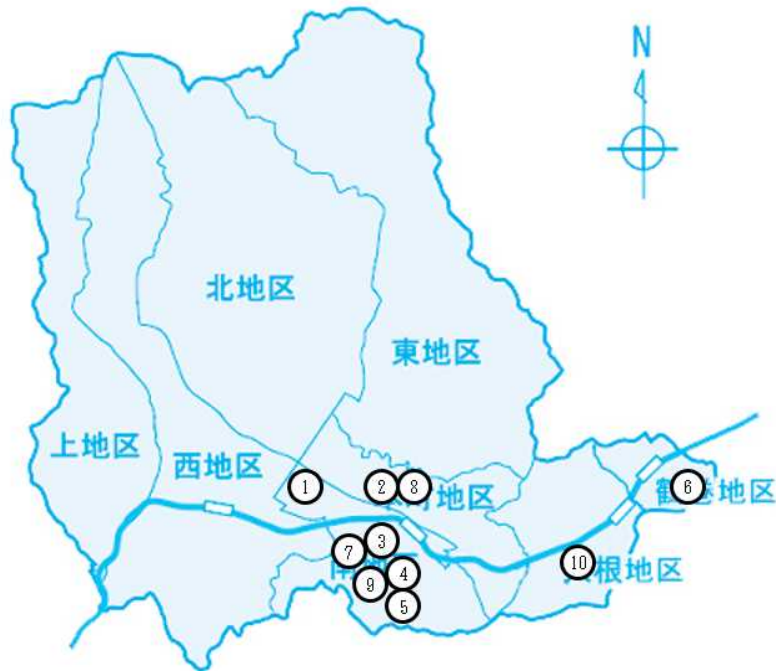


- ①横野 ②東田原 ③羽根 ④名古屋 ⑤名古屋 ⑥蓑毛 ⑦柳川 ⑧渋沢 ⑨渋沢 ⑩今泉 ⑪南が丘 ⑫上大槻 ⑬曾屋 ⑭曾屋



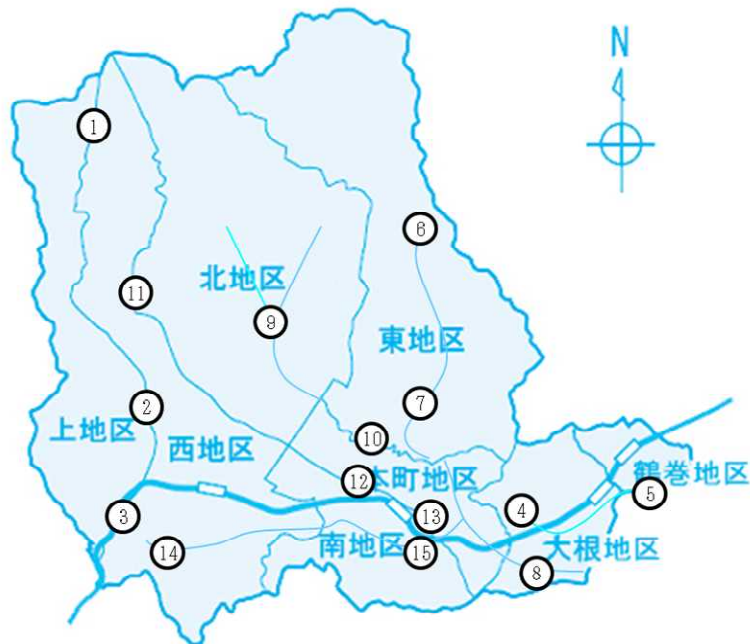


(公園・神社)



- ①公園 1 ②公園 2 ③公園 3 ④公園 4 ⑤公園 5 ⑥公園 6 ⑦神社 1
 ⑧神社 2 ⑨神社 3 ⑩神社 4

(河川)



- 【四十八瀬川】 ①上流 ②中流 ③下流 【大根川】 ④上流 ⑤下流
 【金目川】 ⑥上流 ⑦中流 ⑧下流 【葛葉川】 ⑨上流 ⑩下流
 【水無川】 ⑪上流 ⑫中流 ⑬下流 【室川】 ⑭上流 ⑮下流





(2) 調査結果

ア 水田

【植物】

12箇所の水田調査の結果、指標種は25種中24種が確認されました。全地域で確認できたのはセリであり、広域的に分布していたのはヒガンバナ、ケキツネノボタン、ミゾソバ類などの湿地性植物でした。一方、全地区で確認できなかった指標種はヘラオモダカで、その他ミズオオバコ、コガマ、ワレモコウ、ミゾホオズキ、ツリガネニンジン、ミゾカクシは局所的に分布していました。また、外来種については8箇所でもランダガラシが確認されました。

以下に各地区の地域特性と確認された指標種について示します。

・北地区

定期的に草刈りがされており、稲作期以外は乾燥しています。イワツバメやコチドリなどの鳥類が、餌場や休憩場所として利用している水田が点在しています。

北地区の水田で指標種は、11種が確認されました。

広く分布している指標種が多く見られ、外来種が唯一確認されなかった地域です。

・東地区

環境団体等が管理している水田や湧水を利用した水田が広がり、平地に広がる水田や山裾の谷戸田などが多くみられます。一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

東地区の水田で指標種は、22種が確認されました。

これは平成22年(2010年)の調査時とほぼ同程度です。市内で唯一ミズオオバコを確認。コガマやワレモコウ、アカバナ、ツリガネニンジンなど局所的に分布する指標種が多く見られるなど、全体的に非常に良好な環境が保たれています。

・上地区

環境団体等が管理している湧水を利用した水田が広がっています。ほとんどが休耕地ですが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

上地区の水田で確認された指標種は16種と比較的多く、良好な湿地環境が保たれていると考えられます。





・西地区

四十八瀬川の河川沿いや渋沢丘陵からの湧水を利用した水田が広がり、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

西地区の水田で確認された指標種は 19 種と多く、コガマ、ワレモコウ、ムラサキサギゴケ、ミゾホオズキなど局所的に分布する指標種が見られたほか、ミゾカクシはこの地区のみ確認されました。

・南地区

住宅街の中に点在する湧水を利用した水田や湿地があり、市内唯一の湖があるなど、貴重な水辺環境が残されています。

南地区の水田の指標種は 4 種が確認で、地区としては最も少ない種数となりました。

・大根地区

弘法山の山裾には水田が広がり、ホタルなどが生息する貴重な場所となっています。畔は常に草刈りがされ、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

大根地区の水田で確認された指標種は 7 種で、平成 22 年(2010 年)の調査時よりも減少しました。

・鶴巻地区

平野部には整備された水田が広がっていますが、冬季は水のほとんどない乾田となり、一部に休耕地も点在しています。

鶴巻地区の水田で指標種は、13 種が確認されました。

平成 22 年(2010 年)の調査時から大きな変化は見られず、広く分布する指標種のみ確認されています。





【水田（植物）調査結果】

No.	指標種	北地区	東地区				上地区	西地区			南地区		大根地区	鶴巻地区
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
1	オシロイバナ	○	○	○	○	○	○	○					○	
2	アサギソウ													
3	ミズアザミ			○										
4	ヒガンバナ	○	○		○	○	○	○			○	○	○	
5	コガマ		○					○						
6	コキ	○	○	○		○	○	○					○	
7	タカラヅク			○	○	○		○					○	
8	オシロイバナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
9	ワレモウ			○				○						
10	アザミ		○			○								
11	オシロイバナ		○	○	○	○		○					○	
12	ミズアザミ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
13	アザミ		○			○						○	○	
14	ミズアザミ	○	○			○	○	○						
15	アザミ	○	○	○	○							○	○	
16	アザミ			○		○	○	○		○				
17	アザミ		○			○	○						○	
18	アザミ					○			○					
19	アザミ	○		○										
20	アザミ						○							
21	アザミ	○	○	○			○							
22	アザミ	○	○	○			○					○	○	
23	アザミ		○	○	○	○	○		○			○	○	
24	アザミ			○		○	○	○						
25	アザミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外来種	アザミ						○							
	アザミ		○											
	アザミ			○			○	○						
	アザミ		○	○	○	○		○			○	○	○	
	アザミ													





【動物】

12箇所の水田調査の結果、指標種は25種中22種が確認されました。広域的に分布していたのはシュレーゲルアオガエル、ツチガエル、ヒメアメンボ、シオカラトンボ、サワガニ、カワニナの6種です。局所的に分布していたのはニホンイモリ、タイコウチ、ミズカマキリ、ヘイケボタル、シギ・チドリ類、カヤネズミの6種で、さらに鶴巻地区で絶滅危惧Ⅱ類のトウキョウダルマガエルが確認され、貴重な生息場所となっていることが分かりました。

また、絶滅危惧Ⅱ類のホトケドジョウが生息している地域も多く、良好な谷戸の水辺環境があることが分かり、市内の生物多様性の状況は比較的豊かに保たれていると考えられます。

平成22年(2010年)の同調査において市内数箇所で確認されていたヤマアカガエルは、今回確認できた地域が減少しました。ヤマアカガエルはアライグマによって捕食されることが知られており、この10年で外来種アライグマの生息域が拡大していることとの関連性が懸念されます。さらに、ヤマアカガエルにとって好適な産卵場所である、冬季の湿田が減っていることも要因の一つ考えられます。

また、水田にいる外来種等を駆除するために農薬を散布したり、冬季に水の導入を中止したりすると、湿地で越冬する水生生物の生息地が失われるなど生物相に与える影響は大きく、生物多様性の低下を招く恐れがあります。

水田脇の湧水路にもサワガニなど多くの生物が生息していることから、現状の素掘りの水路を維持していくことが望まれます。

以下に各地区の地域特性と確認された指標種について示します。

・北地区

定期的に草刈りがされており、稲作期以外は乾燥しています。イワツバメやコチドリなどの鳥類が、餌場や休憩場所として利用している水田が点在しています。

北地区の水田で指標種は、6種が確認されました。

広く分布している指標種が多いことが特徴的で、外来種は確認されませんでした。

・東地区

環境団体等が管理している水田や湧水を利用した水田が広がり、平地に広がる水田や山裾の谷戸田などが多くみられます。一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

東地区の水田で確認された指標種は19種類で、絶滅危惧Ⅱ類のホトケドジョウが生息するなど、良好な谷戸の水辺環境があることが分かりました。





ヤマアカガエル、ニホンイモリなど希少な生物が生息しているほか、ミズカマキリとカヤネズミについては市内で唯一確認されました。

・上地区

環境団体等が管理している湧水を利用した水田が広がっています。ほとんどが休耕地ですが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

上地区の水田で確認された指標種は17種と多く、絶滅危惧Ⅱ類のホトケドジョウが生息しているほか、アメンボ類、トンボ類、ホタル類の指標種はほぼすべて確認でき、良好な湿地環境が保たれていると考えられます。

・西地区

四十八瀬川の河川沿いや渋沢丘陵からの湧水を利用した水田が広がり、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

西地区の水田で確認された指標種は17種と多く、ヤマアカガエル、タイコウチ、ゲンジボタル、ヘイケボタルなど希少な指標種が見られました。

・南地区

住宅街の中に点在する湧水を利用した水田や湿地があり、市内唯一の湖があるなど貴重な水辺環境が残されています。

南地区の水田で指標種は、9種が確認されました。

湖には外来種のウシガエルが多数生息していたため、対策が必要です。

・大根地区

弘法山の山裾には水田が広がり、ホタルなどが生息する貴重な場所となっています。畔は常に草刈りがされ、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。

大根地区の調査地で指標種は、10種が確認されました。

平成22年(2010年)の調査時に見られたヤマアカガエ、ゲンジボタル、ヘイケボタルは今回確認ができませんでした。

・鶴巻地区

平野部には整備された水田が広がっていますが、冬季は水のほとんどない乾田となり、一部に休耕地も点在しています。

鶴巻地区の水田で指標種は、7種が確認されました。

絶滅危惧Ⅱ類のトウキョウダルマガエルが確認され、貴重な生息場所となっていることが分かりました。

一方、外来種のスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)やアメリカザリガニも確認されており、駆除等の対策が必要です。





【水田（動物）調査結果】

No.	指標種	北地区	東地区				上地区	西地区			南地区		大根地区	鶴巻地区
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
1	ヤマアカエビ			○			○	○		○				
2	ニホアカエビ													
3	トビョウダシカエビ												○	
4	シュレーケルアカエビ	○	○	○	○	○	○	○	○			○		
5	ツバエビ		○	○	○	○		○	○			○	○	
6	ニホイビ			○		○								
7	トビョウ		○			○		○	○			○	○	
8	ホトトビョウ		○	○		○		○	○		○			
9	タイロウ		○	○			○							
10	ミスガヤリ			○										
11	ヒメアホ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
12	シマアホ	○	○	○		○	○	○		○		○		
13	ホニヤ		○	○		○	○	○	○		○	○		
14	ハグロトホ			○		○		○		○				
15	シホトホ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
16	ケツホ		○			○		○	○					
17	ヘイホ					○	○	○						
18	カミ													
19	シメツコ													
20	ツバニ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
21	マシ		○			○	○	○				○	○	
22	カニ		○	○	○	○		○	○		○	○	○	
23	サキ類		○			○	○	○					○	
24	シキ・トノリ類	○				○								
25	カヤミ			○										
外来種	ウガエビ									○				
	カヤ													
	アメリカリカニ		○		○	○		○		○			○	
	リカガイ		○									○		
	スクリコガイ												○	





イ 雑木林

【植物】

14 箇所の雑木林調査によって指標種 25 種中 24 種が確認されました。ほぼ全域に分布していた指標種はフタリシズカ、ハウチャクソウ、ホトトギス、ヤマユリ、キンラン、ヤブラン、タチツボスミレ、ヤブコウジ、アキノタムラソウ、ヤブレガサ、シラヤマギクの 11 種が確認され、広域的に分布していた指標種はギンラン、シュンラン、リンドウの 3 種でした。局所的に分布していた指標種はカンアオイ類、エビネ、ニリンソウ、キッコウハグマ、オケラであり、このうち環境省版レッドリスト 2020 で準絶滅危惧種に指定されているエビネは市内 6 箇所で確認されました。

10 年前の同調査と比較しても指標種数の減少は見られず、全体的に良好な雑木林環境が保たれていると言えます。しかし、各地区に数種の外来種の侵入が確認され、林縁部や道路沿いに目立ち始めています。

以下に各地区の地域特性と確認された指標種について示します。

・北地区

国定公園や自然環境保全地域が広がり、良好な自然環境が残る地域でスギやヒノキの針葉樹林が多く、下草はシダ植物が繁茂しています。

北地区の雑木林で指標種は、20 種が確認されました。これは調査地 1 箇所としては最も多い種数です。

日の当たる道路沿いや広葉樹林にはカシワバハグマ、マヤラン、ホタルカズラなど貴重な花が確認できました。

・東地区

国定公園や自然公園、峡谷など生態系豊かな環境が広がり、良好な自然が残っている地域で、林道や散策路、環境団体等が管理している雑木林などがあります。

東地区の雑木林で指標種は、22 種が確認されました。

調査地⑥では環境省版レッドリスト 2020 で準絶滅危惧種に指定されているエビネの群落が確認されたほか、絶滅危惧 I 類のヤブサンザシが見られました。10 年前の同調査と比較しても指標種数の減少は見られません。ただし、道路沿いには外来種のツルニチニチソウが繁茂し始めていました。





・上地区

国立公園や自然環境保全地域が広がり、良好な自然環境が残り、多様な木々や四季折々の草花が見られ、希少種も確認されています。

上地区の雑木林で指標種は、16種が確認されました。

雑木林には多様な木々が見られ、道路沿いの土手にはアマドコロ、オカトラノオ、オオバウマノスズクサなど四季折々の草花が確認されました。

・西地区

北側に丹沢大山自然公園、中央部に住宅街、南側に渋沢丘陵が広がり、人の手により管理された雑木林があります。

また、渋沢丘陵を中心に環境教育の場や谷戸田の自然が残されている貴重な場所となっています。

西地区の雑木林で指標種は、19種が確認されました。

調査地⑨ではカンアオイ類やニリンソウ、準絶滅危惧種のエビネなども確認されました。

・南地区

住宅街の近くに社寺林や神奈川県探鳥地 50 選に選ばれたまとまった緑地などがあり、南側には大磯丘陵が広がっています。

南地区の雑木林で指標種は、22種が確認されました。

調査地⑩では春にはギンラン、シュンラン、イチヤクソウが、秋にはリンドウ、キッコウハグマなど貴重な種が確認されました。下草刈りなど適切な管理が行われているため、多種多様な植物が生育する良好な環境が保たれていると考えられます。

・大根地区

北側に県立大山自然公園、駅周辺には商店や住宅街、市街地には自社林が点在している地域。かつてあった、クヌギやコナラは減少し、桜やイロハモミジが植林された雑木林が広がり、人の手により管理された雑木林と放置された雑木林が混在しています。

大根地区の雑木林で確認された指標種は18種で、貴重な指標種であるオケラも確認されました。





【雑木林（植物）調査結果】

No.	指標種	北地区	東地区					上地区	西地区			南地区			大根地区	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
1	カンアオイ類	○					○		○	○						
2	ヒトリシズカ	○	○	○		○	○	○					○		○	
3	フクリシズカ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	
4	ウツクサ	○	○	○		○	○						○			
5	ホトキス	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	ホトキス	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
7	ヤマユリ	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	モンラン	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	
9	キンラン	○				○	○	○		○	○	○		○	○	
10	ヒメネ					○	○			○		○	○		○	
11	ジュンラン	○	○					○	○	○	○	○			○	
12	オオハキホウキ	○						○		○		○	○	○		
13	ヤマユリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	ニリンソウ						○			○						
15	アザミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	ヤマユリ	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
17	ウツクサ															
18	イタドリ		○	○		○			○	○	○	○		○		
19	リンドウ	○	○	○		○	○	○			○			○		
20	ヤマユリ	○	○	○			○			○		○				
21	アザミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
22	キクウハヒツマ	○									○					
23	オオハキ					○							○	○	○	
24	ヤマユリ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		○	
25	ヤマユリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	○	
外来種	オオハキ				○	○				○						
	オオハキ															
	アザミ							○			○					
	オオハキ					○						○		○	○	
	オオハキ															





【動物】

14箇所を確認された指標種は25種中23種が確認されました。ほぼ全域で確認されたのはアブラゼミ、ミンミンゼミ、コゲラ類の3種が確認され、広域的に分布していた指標種はモンキアゲハ、ハヤシノウマオイ、クツワムシ、スズメバチ類、カラ類の5種でした。

また、局所的にはオオムラサキ、ハラビロカマキリ、フキバツタ類、ニホントビナナフシ、ハンミョウ、クロカナブンの6種が確認されました。

指標種が最も多く確認された西地区の調査地⑨と南地区の調査地⑩、大根地区の調査地⑬は多様な生物が生息できる豊かな自然環境が残っており、生物多様性の観点からも理想的な地区と言えます。しかし外来種が数種ほど確認されていることから、早めの対策が課題となります。

以下に各地区の地域特性と確認された指標種について示します。

・北地区

国立公園や自然環境保全地域が広がり良好な自然環境が残る地区で、スギやヒノキの針葉樹林が多く下草はシダ植物が繁茂しています。

北地区の雑木林で確認された指標種は10種で、フクロウの姿も確認されています。

・東地区

国立公園や自然公園、峡谷など生態系豊かな環境が広がり良好な自然が残っている地域で、林道や散策路、環境団体等が管理している雑木林など、定期的に草刈り等が行われています。

東地区の雑木林で指標種は、14種が確認されました。

ハラビロカマキリとハンミョウは市内で唯一確認されました。市内でも特にシカやイノシシの出没する地域でもあり、それに伴いヤマビルも多くなっています。

・上地区

国立公園や自然環境保全地域が広がり、良好な自然環境が残り、多様な木々や四季折々の草花が見られ、希少種も確認されています。

上地区の雑木林で確認された指標種は9種で、鳥類も多く見られ、オオタカの鳴き声も確認されました。





・西地区

北側に丹沢大山自然公園、中央部に住宅街、南側に渋沢丘陵が広がり、人の手により管理された雑木林があります。

また、渋沢丘陵を中心に環境教育の場や谷戸田の自然が残されている貴重な場所となっています。

西地区の雑木林で指標種は、16種が確認されました。

ジャコウアゲハ、オオムラサキ、フキバツタ類など貴重な動物が確認されましたが、生き物観察等を行う地域の環境教育の場でもイノシシによる被害が増えてきたことから、対策が求められます。

・南地区

住宅街の近くに社寺林や神奈川県探鳥地50選に選ばれたまとまった緑地などがあり、南側には大磯丘陵が広がっています。

南地区の雑木林で指標種は17種が確認され、ジャコウアゲハ、フキバツタ類、クロカナブンなど貴重な指標種が確認されました。

・大根地区

北側に県立大山自然公園、駅周辺には商店や住宅街、市街地には自社林が点在している地域。かつてのクヌギやコナラ林は減少し、桜やイロハモミジが植林された雑木林が広がり、人の手により管理された雑木林と放置された雑木林が混在しています。

大根地区の雑木林で指標種は16種が確認され、エゾツユムシとニホントビナナフシは、この地域のみで確認されました。





【雑木林（動物）調査結果】

No.	指標種	北地区	東地区						上地区	西地区			南地区			大根地区	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		
1	アヒツアヒ		○		○	○				○		○	○		○		
2	モキアヒ	○	○		○			○			○		○	○	○		
3	ゾウアヒ	○								○	○						
4	オムラサキ									○							
5	キマダヒカシ類	○								○	○	○		○	○		
6	クコマチョウ		○		○			○	○	○		○		○			
7	ルビロカキリ				○												
8	フカツタ類									○	○						
9	ハシノタイ		○	○				○	○	○	○			○	○		
10	クカムシ	○	○					○	○	○	○	○		○	○		
11	エノブムシ													○	○		
12	トナリフ																
13	ニホヒナフ														○		
14	アサヒミ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
15	ミンヒミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
16	ヒガラ	○						○		○	○	○		○	○		
17	ルミョウ				○												
18	オムラサキ	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
19	カトシ										○	○	○	○	○		
20	カカフン										○	○					
21	ヤマトムシ																
22	スサヒミ	○		○			○		○	○	○		○	○			
23	カシ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
24	コウ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
25	タヌキ・アゲマの痕跡		○		○	○			○								
外来種・ 要注意種	アヒツアヒ		○		○	○				○	○	○					
	アサヒミ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	クセミ		○									○	○				
	ムササビ		○		○					○	○						
	カキ		○			○	○			○	○						





ウ 公園・神社

【植物】

公園・神社は雑木林や社寺林だけでなく、池や湿地など多様な環境を持ち合わせています。そのような環境下の指標種 50 種中 18 種が確認されました。広域で確認されたのはセリ、ヤブランなど 2 種でした。外来種については公園で 3 種、神社で 2 種が確認され、なかでもアレチヌスビトハギとオランダガラシ、ナガミヒナゲシの 3 種が数箇所確認されました。

【公園・神社（水田植物）調査結果】

No.	指標種	公園						神社			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	オシロイバナ										
2	ハハコグサ										
3	ミズオハコ										
4	ヒガンバナ	○			○		○	○			
5	コガマ										
6	コキキ										
7	タカラコ										
8	キクアザミ					○	○				
9	ワレモウ										
10	アザミ										
11	チョウセンアザミ										
12	ミゾソバ類					○					
13	ササユリ類										
14	ミミズク										
15	ノミナズナ										
16	ツリフネ					○					
17	ムラサキキク										
18	ミゾソバ									○	
19	ツリフネ		○								
20	ミゾソバ										
21	ノミナズナ										
22	コオニヒトコ										
23	カントウヨシ					○					
24	タコキ										
25	セリ			○		○	○	○		○	
外来種	セリ										
	オシロイバナ										
	アレチヌスビトハギ	○									
	オランダガラシ		○	○		○					
	ナガミヒナゲシ										





【公園・神社（雑木林植物）調査結果】

No.	指標種	公園						神社			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	カアサキ類								○		
2	ヒトツバカ										
3	フタツバカ										
4	ウツクサ							○		○	○
5	オシロイバナ							○	○	○	○
6	トクモ									○	
7	ヤマユリ								○		
8	キリン										
9	キンラン										
10	ヒメミ										
11	ジュンラン										
12	オシロイバナ							○			
13	ヤマユリ	○			○	○		○	○	○	○
14	ニリンソウ										
15	オシロイバナ	○							○	○	○
16	ヤマユリ									○	○
17	ウツクサ										
18	オシロイバナ										
19	リンドウ		○								
20	ヤマユリ										
21	アキナガサ										
22	キコウクマ										
23	オシロイバナ										
24	ヤマユリ										
25	シキマキ										
外来種	カミシロイバナ	○						○	○		
	オシロイバナ										
	オシロイバナ	○			○	○			○		
	オシロイバナ										





【動物】

指標種 50 種中 25 種が確認されました。湿地を残して作られた公園⑤には、ホトケドジョウやサワガニ、カワニナが生息し、ゲンジボタルやヘイケボタルも生息していることが確認されました。公園⑥の池には特定外来生物であるウシガエルが生息しており、餌となるカエル類やドジョウ、アメンボ類やサワガニなどの水生生物は確認されませんでした。

【公園・神社（水田動物）調査結果】

No.	指標種	公園						神社			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ヤマカガシ					○				○	
2	ニホンカマキリ										
3	トウモロコシ										
4	シロケルマカミ										
5	ツバキ										
6	ニホンイシガキ					○					
7	トビ			○							
8	ホトトギス			○		○		○			
9	タヌキ										
10	ミスズメ			○	○						
11	ヒメアメンボ										
12	シマアメンボ			○				○		○	
13	オニヤマト					○				○	
14	ハクロトビ					○					
15	シオカラトビ	○	○			○	○				
16	ケンミンボ					○		○		○	
17	ヘイケボタル					○					
18	ガムシ										
19	シメツクシ										
20	サワガニ			○		○		○		○	
21	マダニ										
22	カニナ		○	○		○		○	○	○	
23	サギ類						○				
24	シキリ類										
25	カキミ										
外来種	ウシガエル						○				
	カマキリ										
	アメリカリガニ			○	○		○	○		○	
	サギ										
	スクミリンゴガイ										





【公園・神社（雑木林動物）調査結果】

No.	指標種	公園						神社			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	アオシ`ア`ル	○	○				○	○	○		
2	モクア`ル						○	○			
3	シ`ウア`ル										
4	材ムラサキ										
5	キラタ`ヒカ`類										
6	カコ`マ`ウ					○		○			
7	ルビ`ロカ`リ										
8	フキ`ツ`類										
9	ハシ`ク`イ										
10	ク`ム										
11	エ`ク`ム										
12	ト`サ`フ										
13	ニホ`ヒ`サ`フ							○			
14	ア`ラ`セ`ミ	○	○		○	○	○	○	○	○	○
15	ミン`セ`ミ	○					○	○	○	○	○
16	ヒ`ラ`シ							○	○	○	
17	ル`ミ`ウ										
18	材`ヒ`タ`テ`ム										
19	カ`ト`ム							○			
20	カ`カ`フ`ン										
21	キ`ト`タ`ム										
22	双`ル`キ`類						○		○		○
23	カ`類	○	○	○	○			○	○	○	
24	コ`ラ`類	○	○		○			○	○	○	
25	ク`マ`の痕跡										
外来種・ 要注意種	ア`カ`シ`マ`ラ										
	ア`マ`ツ`ム	○	○					○	○	○	○
	ク`セ`ミ	○	○				○	○		○	○
	ル`ア`カ`ヒ`ロカ`リ							○			
	カ`ヒ`ウ		○						○	○	
キ`ヒ`ル											





エ 河川

【動植物】

市内を流れる6河川（15箇所）の調査において、指標種57種中43種が確認されました。指標種が最も多かったのは葛葉川で57種中31種、続いて四十八瀬川で29種でした。両河川ともナミウズムシ、サワガニ、ヒラタカゲロウの仲間、ナガレトビケラの仲間、カジカガエルなど、きれいな水でしか生息できない指標生物が確認されています。また、千村の渋沢丘陵を水源とする室川の上流地域はホタルの里としても有名で、きれいな水の指標生物であるアミカの仲間が確認されました。

一方、指標種が最も少なかったのは大根川で18種が確認されました。悪い水質でも生息できるイシビルの仲間やミズムシのほか、外来種のアレチウリやアメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメも確認されました。

丹沢山系を水源とする葛葉川、水無川、四十八瀬川の上流調査地は人為的影響を受けにくい環境であることから、絶滅危惧種Ⅱ類のカジカなども生息する豊かな生態系が保持されています。また市内の河川全域にわたり準絶滅危惧種のアブラハヤが多く見られ、神奈川県内では良好な河川環境であると言えます。しかし下流にいくにしたがって市街地を流れ、生活排水の流入が増え、汚れた水でも生息できる生物や、人為的な移入による外来種が増加するようになります。





【河川調査結果】

No.	指標種	酒匂川水系			金 目 川 水 系											
		四十八瀬川			大根川		金目川			葛葉川		水無川			室川	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
1	ナミウス`ムシ			○			○			○	○					○
2	カワニ				○			○		○	○		○			○
3	サガニ	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○
4	ヒラタガ`の仲間	○	○	○			○	○	○		○	○	○	○		○
5	モンカゲ`の仲間	○	○				○	○		○	○	○				○
6	カケラ`の仲間	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	コオニヤマ			○	○			○								
8	オニヤマ	○	○	○	○	○	○			○	○					○
9	ムシトホ						○									
10	ベ`トホ`の仲間		○	○			○	○		○	○	○	○			○
11	シマヒ`ケラの仲間	○	○	○			○	○		○	○	○				○
12	ヒゲ`ガ`カトヒ`ケラの仲間	○	○	○			○		○	○	○	○	○			○
13	ナ`レヒ`ケラの仲間	○	○	○	○			○		○	○	○				○
14	カクツヒ`ケラの仲間	○	○	○			○			○	○	○				
15	アミカの仲間															○
16	ゲンシ`ネム							○								
17	イシヒ`ルの仲間				○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
18	ミス`ムシ				○	○			○		○		○	○	○	○
19	テガ`エヒ`-スジ`エヒ`の仲間															
20	ヌマエヒ`の仲間					○			○							○
21	アブ`ラハヤ		○			○		○	○		○		○	○		○
22	ウグ`イ			○							○					
23	カマツカ															
24	シマト`シ`ヨウ			○				○			○					
25	ヤマメ`アマゴ`	○														
26	カマキリ															
27	ガジ`カ	○	○	○						○			○			
28	ホ`ウス`ハヒ`															
29	ウキコ`リ															
30	ヨシノホ`リの仲間		○	○				○	○		○					○
31	シマヨシノホ`リ				○	○			○	○	○					○
32	エヒ`モ															
33	ササハ`モ															
34	ホサ`キノフサ															
35	ススキ	○	○	○						○	○	○				
36	ホキ`	○	○								○		○	○		
37	ヨシ					○										○
38	ツルヨシ		○	○					○	○	○	○	○	○		○
39	クサヨシ				○											
40	マコモ															
41	ヤキ`類			○		○										
42	オイヌタ`			○		○			○				○			○
43	ミヅ`ソバ`		○	○	○	○			○	○	○				○	○
44	フサ`クラ	○		○			○		○							
45	ヒメレンゲ`															
46	タコノアシ															
47	カラハハコ															
48	カラヨモギ`															
49	カラクツメイ															
50	セリ		○		○	○	○				○			○	○	○
51	カワセミ					○					○					
52	カワカ`ラス										○					
53	カウ					○					○					
54	サキ`類					○					○					
55	キセキレイ			○		○			○		○					
56	ガジ`カガ`エル	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○		
57	タコ`カ`エル		○													
外 来 種	オオカナダ`モ															
	コカナダ`モ															
	ハリエンジュ			○							○	○				
	シナダ`レスス`メガ`ヤ															
	アネ子ウリ		○	○	○						○					
	オオフサ															
	アメリカザ`リガ`ニ					○										
	ウシガ`エル															
オオカワチ`シヤ									○							
ミンシツビ`アカミミガ`メ					○											





オ 外来種・要注意種

【植物】

特定外来生物（植物）のうち、調査で確認されたのはオオフサモ、アレチウリ、オオカワヂシャの3種であり、アレチウリは3河川で確認されました。

市内広域で見られた外来種はアレチヌスビトハギとオランダガラシの2種が確認され、河川敷にはハリエンジュも分布していました。

【動物】

今回の調査では確認されませんでした。秦野市の有害鳥獣対策の一環で仕掛けている箱わなには特定外来生物のアライグマが数多く捕獲されていることから生息は確認されています。哺乳類以外では、鳥類1種（ガビチョウ）、両生類1種（ウシガエル）、魚類2種（ブルーギル、オオクチバス）、昆虫類1種（アカボシゴマダラ）が確認されました。

さらにアメリカザリガニ、アオマツムシ、ガビチョウは市内広域で確認されているほか、野生動物によって運ばれて広がるヤマビルが生息域も拡大傾向にあり、生態系や私たちの生活への影響も懸念されます。





【外来種・要注意種の調査結果】

外来種・要注意種		水田	雑木林	公園・神社	河川
植 物	セリバ [°] ヒエンソウ	○			
	アレチヌスビ [°] トハギ [°]	○	○	○	
	オランダ [°] ガラシ	○		○	
	オキクヱイ [°] ク				
	ナガ [°] ミヒナゲシ		○	○	
	マルバ [°] フジバ [°] カマ		○		
	オオカナダ [°] モ				
	コカナダ [°] モ				
	ハリエンジュ				○
	シナダ [°] レスス [°] メガ [°] ヤ				
	<u>オオフサモ</u> ※	○			○
	<u>アレチウリ</u> ※				○
	<u>オオカワチ[°]シヤ</u> ※				○
動 物	カタ [°] ヤシ				
	アメリカザ [°] リガ [°] ニ	○		○	○
	サカマキガ [°] イ	○			
	スクミリンゴ [°] ガイ	○			
	アオマツムシ		○	○	
	ムネアカハラビ [°] ロカマキリ		○	○	
	ミシシッピ [°] アカミミガ [°] メ				○
	<u>ウシガ[°]エル</u> ※	○		○	
	<u>アカホ[°]シゴ[°]マダ[°]ラ</u> ※		○		
	<u>ガ[°]ビ[°]チョウ</u> ※		○	○	
	<u>ブルーギ[°]ル</u> ※	○			
	<u>オオクチハ[°]ス</u> ※	○			
要注意種	クマゼ [°] ミ		○	○	
	ヤマビ [°] ル		○		

※特定外来生物





4 生物多様性の保全や社会浸透への取組み

今回の調査により把握できた、生物の生息状況の現状を踏まえ、本市の生物多様性を保全し、今後に伝えていくために、次のような取組が必要になります。

(1) 生物多様性の保全への取組み

ア 動植物の情報収集や保護対策

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・団体等と協力して生物調査を継続して実施します。 ・生態系の保全に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希少種等の保護や外来種の駆除等に協力します。 ・飼育する生き物を適正に管理します。

イ 環境ボランティア団体への支援

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・環境ボランティア団体への支援など、環境保全活動を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動や学校教育等と連携した活動を実施します。

ウ 緑地の保全・再生対策や緑地の創造

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・環境創出行為に対して、緑地等指導を行っていきます。 ・生き物の里及びその周辺一帯の環境の保全再生に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為については、周辺環境への影響を最小限にするよう努めます。 ・生き物の里の適切な維持管理に努めます。

(2) 生物多様性の社会浸透への取組み

ア 自然とのふれあい

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催など、自然とふれあう機会をつくります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに積極的に参加、協力します。

イ 環境学習の実施

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・エコスクールなど学校や地域で実践的な環境教育・学習の場を作ります。 ・環境情報の発信や啓発を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習・教育・体験活動に積極的に参加、協力します。

ウ 継続的な美化活動

市の取組み	市民・事業者が協力できること
<ul style="list-style-type: none"> ・河川浄化月間等を通じて、河川浄化に対する意識を啓発します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川清掃等に積極的に参加します。





(3) 将来的な展望

今回実施した生物調査では、多くの指標種が確認できました。確認できた指標種の中には、絶滅危惧種等に分類されている指標種もあり、それらの指標種の保全対策が必要になります。

その一方で、過去には記録があるものの、現在は見られなくなった指標種もあります。ガムシやシマゲンゴロウは、かつては神奈川県内に広く分布していましたが、平成2年（1990年）以降は急速に個体数が減少していると思われる指標種です。本市においても、約10年前に確認されたのが最後となっており、これらの指標種の再定着に繋がる環境整備も必要です。

そのために、地元自治会や環境団体等と連携し、環境保全や環境整備対策を行うことで、市内の生物多様性におけるホットスポット※1のような役割を担う場所を創造し、エコロジカルネットワーク※2を形成することで、結果的に、市全体の生物多様性の保全に繋げていきたいと考えています。

今回の調査では、多くの場所で外来種の生息も確認できました。特に、生態系等に被害を及ぼす特定外来生物などの対応を行うとともに、継続的な生き物調査を実施し、市内全体の生物多様性の状況を把握していくことが必要です。

また、平成30年4月に国が策定した第5次環境基本計画では、相互に関連、複雑化している環境・経済・社会問題の解決のために、各地域が地域資源を補い支え合い、地域資源の特性を生かした自立・分散型の社会を形成する考え方（地域循環共生圏）が提唱されています。

本市では、水と緑を始めとする豊かな自然環境が地域資源であり、この活動により、こうした地域資源を求める人々との補完的な関係や経済的な繋がりが生まれ、地域の活性化を図ることが期待できます。

こうした理念に基づき行動している団体等の活動により、本市では生物多様性を保全し、活用を目指す地域もあります。このような団体等と連携し、またこのような市民活動が市内全域に広がることを目指しながら、地域活性化にも繋げていきたいと考えています。

※1 「生物多様性におけるホットスポット」

多様な生物が生息しているにもかかわらず、絶滅に瀕した種も生息している地域

※2 「エコロジカルネットワーク」

優れた自然がある場所と、それらの場所と場所をつなぐ回廊の総称





第5章 計画の推進体制。

1 計画の推進体制

(1) 計画の推進

「みどり」は、多様な生物の生息空間として保全が重要となっています。その大切な構成要素である「緑」を保全・再生・創造するためには、秦野に今ある緑を保全再生するとともに、新たな「緑」の創造に、市民及び事業者並びに行政が、それぞれの役割を認識したうえで、連携し、協働することによる計画の推進が求められます。

具体的には、「緑の把握」については、都市公園や地域制緑地等の緑の現状を把握し、「生物多様性の保全」については、生物調査を実施し、その結果を附属機関である秦野市環境審議会に報告し、指摘や助言を受けることとします。

(2) 体制の整備

協働による緑の保全・再生・創造を進めるうえで、市民及び事業者が参加しやすいシステムを構築し、そのための体制を整備していきます。

(3) 計画の見直し

計画の進ちょく状況、今後の社会動向、「都市計画に関する基礎調査」の結果などにより、おおむね5年ごとを目安として、必要に応じて計画の見直しをしていきます。



整備目標総括表

施設種別	年次	計画策定当初(平成18年)						中間年次(平成30年度実績)						計画策定当初目標(令和7年度)						目標年次(令和7年度)						
		市街化区域			都市計画区域			市街化区域			都市計画区域			市街化区域			都市計画区域			市街化区域			都市計画区域			
		箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	箇所	面積(ha)	m ² /人	
施設種別	住区公園	近隣公園	155	13.03	0.85	161	13.22	0.78	172	14.98	1.00	179	15.19	0.92	187	15.74	1.00	193	15.93	0.92	176	15.87	1.08	183	16.08	0.99
		地区公園	2	3.33	0.22	2	3.33	0.20	2	3.33	0.22	2	3.33	0.20	3	5.33	0.34	4	7.33	0.42	3	5.33	0.36	4	7.33	0.45
	基幹公園	総合公園			0.00	1	6.82	0.40			0.00	1	6.82	0.41			0.00	3	17.82	1.03				2	11.92	0.74
		運動公園	1	16.42	1.07	1	16.42	0.97	1	17.75	1.18	1	17.75	1.08	1	16.42	1.05	1	16.42	0.95	1	17.75	1.21	1	17.75	1.10
	基幹公園計		158	32.79	2.15	165	39.80	2.36	175	36.07	2.40	183	43.10	2.61	191	37.49	2.39	202	77.61	4.50	180	38.95	2.65	190	53.09	3.28
		風致公園	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04	1	0.66	0.04
	特殊公園	動物園																								
		歴史公園	1	1.02	0.07	1	1.02	0.06	1	1.02	0.07	1	1.02	0.06	2	1.62	0.10	3	7.92	0.46	2	1.62	0.11	3	7.92	0.49
		墓園																								
		その他																								
	広場公園																									
	広域公園				1	34.63	2.05				1	36.10	2.19				1	56.90	3.30				1	50.83	3.14	
	緩衝緑地																									
	都市緑地	10	13.72	0.90	10	13.72	0.81	11	14.40	0.96	12	25.05	1.52	10	13.72	0.87	10	13.72	0.79	11	14.40	0.98	12	25.05	1.55	
	緑道																									
都市林																										
国の設置によるもの																										
都市公園計	170	48.20	3.15	178	89.84	5.33	188	52.16	3.48	198	105.94	6.42	204	53.50	3.41	217	156.81	9.08	194	55.64	3.79	207	137.55	8.49		
公共施設緑地	118	104.72	6.85	190	319.72	18.97	102	99.88	6.66	186	294.04	17.82	112	103.48	6.60	184	332.73	19.27	103	99.41	6.76	186	293.40	18.11		
都市公園等合計	288	152.92	10.01	368	409.57	24.30	290	152.04	10.14	384	399.98	24.24	316	156.98	10.01	401	489.55	28.36	297	155.06	10.55	393	430.96	26.60		
民間施設緑地	457	50.98	3.34	500	343.08	20.35	886	69.70	4.65	937	365.27	22.14	1298	67.57	4.31	1557	362.94	21.02	1265	75.88	5.16	1535	372.00	22.96		
施設緑地計	745	203.90	13.34	868	752.65	44.65	1176	221.73	14.78	1321	765.24	46.38	1614	224.55	14.31	1958	852.49	49.38	1562	230.93	15.71	1928	802.96	49.57		
特別緑地保全地区	風致地区													2	17.77	1.13	3	27.67	1.60	2	17.77	1.21	3	27.67	1.71	
	生産緑地地区	713	107.00	7.00	713	107.00	6.35	670	100.80	6.72	670	100.80	6.11	665	100.00	6.37	665	100.00	5.79	665	100.00	6.80	665	100.00	6.17	
	その他法によるもの	0	0.00	0.00	3	8,393.69	497.91	0	0.00	0.00	3	7,719.58	467.85	0	0.00	0.00	3	8,318.19	481.85				3	7,699.10	475.25	
	法によるもの計	713	107.00	7.00	716	8,500.69	504.26	670	100.80	6.72	673	7,820.38	473.96	667	117.77	7.51	671	8,445.86	489.25	667	117.77	8.01	671	7,826.77	483.13	
	緑地協定																									
条例等によるもの	25	25.52	1.67	31	476.24	28.25	23	24.73	1.65	32	476.63	28.89	24	19.96	1.27	37	477.66	27.67	24	19.78	1.35	33	471.68	29.12		
小計	738	132.52	8.67	747	8,976.93	532.51	693	125.53	8.37	705	8,297.01	502.85	691	137.73	8.78	708	8,923.52	516.92	691	137.55	9.36	704	8,298.45	512.25		
地域制緑地間の重複					2,009.82	119.22					2,009.82	121.81					2,009.82	116.42						2,009.82	124.06	
地域制緑地計	738	132.52	8.67	747	6,967.11	413.28	693	125.53	8.37	705	6,287.19	381.04	691	137.73	8.78	708	6,913.70	400.49	691	137.55	9.36	704	6,288.63	388.19		
施設・地域制緑地間の重複				3	99.34	5.89			0.00	4	100.97	6.12			0.00	6	127.37	7.38				4	105.64	6.52		
緑地総計	1483	336.42	22.01	1612	7,620.42	452.04	1869	347.26	23.15	2022	6,951.46	421.30	2305	362.28	23.09	2660	7,638.81	442.50	2253	368.48	25.07	2628	6,985.94	431.23		
人口	市街化区域人口	153 千人						150 千人						157 千人						147 千人						
	都市計画区域人口	169 千人						165 千人						173 千人						162 千人						
	市街化区域面積	2,437 ha						2,438 ha						2,467 ha						2,438 ha						
面積	都市計画区域面積	10,361 ha						10,376 ha						10,361 ha						10,376 ha						
	都市計画区域面積に対する割合	13.80 %						14.24 %						14.68 %						15.11 %						
緑地の確保目標水準	都市計画区域面積に対する割合	73.55 %						67.00 %						73.73 %						67.33 %						
	都市公園	5.33 m ² /人						6.42 m ² /人						9.08 m ² /人						8.49 m ² /人						
都市公園等の目標水準 (住民一人当たりの面積)	都市公園等	24.30 m ² /人						24.24 m ² /人						28.36 m ² /人						26.60 m ² /人						

※現況(H18)は、年度末(H19.3)のものを使用。

【生物調査地概要】（水田・雑木林）

地区	水田	雑木林	調査地	調査地概要
北	○		菩提	常にきれいに草刈りがされ、ツガネンジンやカラナデシコが咲いています。水は綺麗でオモダカやキカシグサ、県レッドリストの準絶滅危惧に分類されている植物が見られ、イヅナメが田の泥を巣材に運んでいます。また、近くを流れる葛葉川にはサワガニやカジカが多数生息しゲンジボタルが飛ぶ良好な環境が維持されています。
		○	横野	スギ、ヒノキの針葉樹林が広がり、下草にはオオバノイノモソウなどのシダ植物が繁茂しています。全体的に暗く、フウカが日中に飛び、日の当たる道路沿いや広葉樹林にはカンパハグマ、マヤン、ホタルカスラなど貴重な花が見られます。
東	○		東田原1	地域で昔から管理している、広々とした水田が広がり、北側は山に面しています。最奥部は小川と湿地があり、ゲンジボタルやホトケシゾウが生息する貴重な場所となっています。また、休耕田には多くの湿生植物が見られます。
		○	東田原2	南側や東側は草刈りが定期的なされ、フェリンドウ、ヤマツナミソウなどが見られます。北側は外来種のイチハギが生い茂っています。明るい林沿いは、モジイゴがたくさんあり、山の中は暗く、急な坂道が多く植物もあまり見られませんでした。
		○	羽根	下草が刈られ手入れが行き届いている雑木林が広がっています。コナラやクヌギの中にイヌザクラやトチノキ、シロホウエンゴサクが生え、サンコウチョウが飛んでいます。また道路沿いには、外来種のツルニチニチソウが繁茂し始めています。
	○	○	名古屋1	湧水を利用し休耕田を元に戻す、復田活動が行われています。冬季湛水を行っているため、ヤマアカガエル、ホトケシゾウ、ニホンイモリ等の貴重な生き物が生息しています。水田、湿地、雑木林等の多様な環境が共存し、人の手が必要に行き届き、里地里山の田園風景が色濃くの残っていますが、イシシヤシカが侵入している跡が多数残っています。
	○		名古屋2	谷戸の最奥部の梅や栗林に続く休耕田です。西半分は草刈りがされ、湧水が小川となっているがサワガニが多く生息しています。草刈りがされていない東半分には、多くの湿生植物が見られます。
		○	名古屋3	林床の植物はシカの食害を受けています。特に冬季のエサとなるようなアオキ、ヤブランなどが減少し、尾根上部より、人里に近い方が多く見られます。
		○	菱毛	散策路が整備され、日の光が林床にまで入り、イカリソウや県レッドリストの準絶滅危惧に分類されている植物の群落があります。また、県レッドリストの準絶滅危惧Ⅱ類に分類されている植物が見られ、サンコウチョウが鳴いています。タノコ目当てのイシシヤシカの被害が目立ちます。
上	○		柳川1	谷戸内に水路、湿地、池があり生物の多様な生息環境が維持されています。西側は草地として維持され、生き物観察等も行われ、地域の環境教育の貴重な場所となっています。また、用水路にはホトケシゾウ、サワガニ、ニホンイモリ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、アカハナなどの貴重な生き物が生息し、田んぼにはオモダカ、コナキ、マルタニなどの生き物が生息しています。
		○	柳川2	コナラ、クヌギ、ウミスズクラ、ガマズミなど多様な木々が見られ、道路沿いの土手には、アマトコロ、オカラノオ、オオバウマノスズクサなど四季折々の草花が見られます。車が頻繁に通る場所ではありますが、草花の種類も多く、県レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に分類されている鳥類の鳴き声も聞こえました。

地区	水田	雑木林	調査地	調査地概要
西	○		堀西	天津神社の樹林帯と四十八瀬川との間の水辺とした、生態系が形成されています。四十八瀬川左岸の土手は手入れされ、ワレコウヤノアザミが確認されました。冬季は水が導入されておらず、用水の流れが速いため、水路内の生物は少ないです。かつて、ゲンジウの鑑賞会が行われていた場所です。
	○		千村	稲の栽培に用いられている箇所は少ないですが、ハヤコウ林が見られ、コガマ、ミヅウハ、セリなどの多様な湿地性植物が生息しています。また、その水辺をキキリやコサカガメなどが利用しているのが確認されました。また、付近では毎年、ウサギの観察会が行われています。しかし、アメリカザリガニの定着や調査地北側で開発行為が行われているため、環境への影響が懸念されています。
	○	○	渋沢1	山側から水が出ており、以前田んぼだったところは、雑草が茂っていました。コノメウが群生し、隣接地の雑木林は手入れもされ、セキソウや、シロツメ、コサカガメが確認できました。谷戸田の自然が残されている貴重な場所となっています。
		○	渋沢2	南側はイソギに荒らされていることがあり、ヤマトハコグサも確認されました。株数は少ないですがイソギ、シロツメ、コサカガメ、県レッドリストの準絶滅危惧に分類されている植物などが確認できました。
南	○	○	今泉1	観測路が整備され、コナラやクヌギが多い雑木林は手入れが行き届いています。春にはシロツメ、イソギ、ギンランが、秋にはリンドウ、キコウハクマなど貴重な植物が見られ良好な状態が保たれています。ただし、外周にはセイバンソウ、アレキスベトハギが増加の傾向にあり注意が必要です。
	○		今泉2	扇状地の扇端部に位置する湧水地です。住宅街の中に残されたわずかな湿地ですが、古くからの湧水の流れがあり、貴重な環境が残されています。
		○	南が丘	林内の斜面下部にシロツメ、ヤマトハコグサや県レッドリストの準絶滅危惧に分類されている植物などを保護している区画があります。林床管理がなされ、落葉や下草がきれいに取り払われています。保護区画の周辺は低木も残され、クサギ、ムササビなどが見られます。
		○	上大槻	斜面林にはアカシ、ヤナギ、ミ、タブノキの大木が目立ち、クヌギ、コナラは少なく、ヤブカンサとヒトリシズカが群生し、ヒキ林が隣接しています。神社の敷地、斜面林は草刈りなどの一定の管理がなされています。
大根	○		北矢名	山裾の水田と、その脇を流れる小川です。自然な護岸で、ゲンジウなどが生息する貴重な場所となっています。畔は常に草刈りがなされ広々としています。
		○	曾屋1	数年前までは、クヌギ、コナラの雑木林で、下草刈り等の管理がなされた見通しの良い明るい林でした。現在は、以前あった雑木林の半分は切られ、ササ、イハヒメギが植林され、下草やつる植物が茂り、もともとあった樹木も枯れかけています。残りの部分は、管理された雑木林として、以前のままの状態でした。
		○	曾屋2	斜面に作られた遊歩道沿いの雑木林とヒキ林です。林床は、ササ、シロ、アサギ、アサギ、イハヒメギなどの低木が茂っています。
鶴巻	○		鶴巻	草刈りや除草剤の使用跡がありました。整備された区画には植物の種類は少ないですが、個人で作っている水田の周りにはガマやシバ、ササなどが生育しています。

(公園・神社)

公園No.	神社No.	調査地概要
1		常に掃除が行き届いていて指標植物は極端に少ないですが、クヌギが食草のアオジアゲハ、セミ類、カ類、コガネ類はよく観察されます。また外来種も確認され、芝生の中にブナ、ヒメバソウ、アマガサ、トコソウ、ワスレ等が目立ちます。
2		コケソウは公園全体に見られます。ツバキソウ、ミコガサ、ヒメバソウなどの植生が豊かです。
3		区画整理事業の一部として整備された公園です。周囲には住宅街があり、子供達がたくさん遊んでいます。
4		市街地に残る貴重な水辺として、公園内には池やビオトープが設置され、開花時期が異なる18種類の桜が植樹されています。
5		秦野駅から近く住宅街の中にある湧水の流れと湿地が保全された公園です。
6		スポーツ広場やいこい広場など様々な施設があり、地域住民がたくさん利用しています。公園内は綺麗に管理されており、全体的に生き物の姿が少ないです。
	1	境内に湧水があり、その周囲には植林された木々が生い茂っています。境内には、ケヤキなどの巨木があり、神社の裏手には、常緑樹の多い林となっていて、住宅街に残された貴重な緑地となっています。
	2	石垣には、原始的な形態のマツバソウが生えています。神社には、イヌビロ、クヌギなどいろいろな樹木があり、本殿前面は手入れがされています。
	3	境内には、湧水から続く小川と池があり、室川と合流しています。境内にはスダジイやカシの巨木があり、裏手は常緑樹の多い林となっており、貴重な自然が残されています。
	4	神社の境内と少し離れた金目川の段差崖にある斜面林です。境内は、ケヤキ、クヌギ、カシの大木の他には下草はほとんどなく、ケヤキには大きな樹洞があります。斜面林はクヌギ、ケヤキ、カシ、エビの高木とアケボノ、シロ、ヤブツバキ、アサギ、ヤブツバキ、カシなどの常緑の低木が生育し、一部に竹林もあります。また、旧家の墓が点在し、所々草刈りや植栽もされています。

(河川)

河 川		調 査 地 概 要		
		上 流	中 流	下 流
酒 匂 川 水 系	四十八瀬川	丹沢大山国定公園に囲まれ、人の影響を受けにくく、河の流れが速い環境です。	周辺には田畑があり、少し離れたところに住宅地が広がっている。人や車の交通量も市街地と比べ少ない環境です。	付近には国道が通っていますが、直接は隣接していません。周囲は山林に囲まれ、人為的な影響を受けにくい環境です。
	大根川	キャンプ場の住宅街の中を河川が通っているため、周辺は住宅街に囲まれている環境です。		北側(秦野)は田んぼや畑が広がり、南側(平塚)は住宅街に挟まれている環境です。
金 目 川 水 系	金目川	丹沢大山国定公園に囲まれ、人の影響を受けにくく、河の流れも穏やかな環境です。	少し離れたところに住宅地が存在します。周囲は樹林と田畑に囲まれているため、人の影響を受けにくい環境です。	平塚秦野線が通っているため車の交通量が多いです。南側には斜面地が広がり、河の流れも速い環境です。
	葛葉川	周囲は田畑に囲まれ、住宅地が点在しています。人や車の交通量も市街地に比べ少ない環境です。		周囲は斜面地や崖で覆われているため、人の影響が受けにくい場所となっています。しかし、中流から下流にかけて河川が市街地を流れている環境です。
	水無川	丹沢大山国定公園に囲まれ、人の影響を受けにくく、河の流れも穏やかな環境ですが、付近にキャンプ場があります。	市の中心を流れ、周囲は住宅街が広がっているため、人為的な影響が大きいです。また通常は伏流水となり、常に水が流れている環境ではありません。	市の中心を流れ、周囲は住宅街が広がっているため、人為的な影響が大きいです。また通常は伏流水となり、常に水が流れている環境ではありません。
	室川	林の里が近くにあり、南側には渋沢丘陵が広がっているため、人為的な影響が少ない環境です。		中流から下流にかけて河川が市街地を通り、周囲は住宅街が広がっているため、人為的な影響が大きい環境です。



【調査地区概要と調査結果（水田）】

地区	地域特性※	
	確認された指標植物	確認された指標動物
北地区	定期的に草刈りがされており、稲作期以外は乾燥しています。ワツバメやコトドリなどの鳥類が、餌場や休憩場所として利用している水田が点在しています。	
	オモダカ・ヒガンバナ・コナギ・ケキツネノボタン・ミゾソバ類・ミナグサ・ノミノスマ・ツリガネニンジン・ノアザミ・コオニタビラコ・セリ	シュレーゲルアオガエル・ヒメアメンボ・シアマメンボ・シオカラトンボ・サワガニ・シギ、チドリ類
東地区	環境団体等が管理している水田や湧水を利用した水田が広がり、平地に広がる水田や山裾の谷戸田などが多くみられます。一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。	
	オモダカ・ミスオオハコ・ヒガンバナ・コガマ・コナギ・タガラシ・ケキツネノボタン・ワレモコウ・アカバナ・チョウジタテ・ミゾソバ類・サクラタテ類・ミナグサ・ノミノスマ・ツリフネソウ・ムラサキサキゴケ・ツリガネニンジン・ノアザミ・コオニタビラコ・カントウヨメナ・タウコギ・セリ	ヤマアカガエル・シュレーゲルアオガエル・ツチガエル・ニホンイモリ・トビシヨウ・ホトケトシヨウ・タイコウチ・ミスカマキリ・ヒメアメンボ・シアマメンボ・オニヤンマ・ハグロトンボ・シオカラトンボ・ゲンジボタル・サワガニ・マルタニシ・カリナ・サギ類・カヤネズミ
上地区	環境団体等が管理している湧水を利用した水田が広がっています。ほとんどが休耕地ですが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。	
	オモダカ・ヒガンバナ・コナギ・タガラシ・ケキツネノボタン・アカバナ・チョウジタテ・ミゾソバ類・サクラタテ類・ミナグサ・ツリフネソウ・ムラサキサキゴケ・ミゾホオズキ・カントウヨメナ・タウコギ・セリ	シュレーゲルアオガエル・ツチガエル・ニホンイモリ・トビシヨウ・ホトケトシヨウ・ヒメアメンボ・シアマメンボ・オニヤンマ・ハグロトンボ・シオカラトンボ・ゲンジボタル・ハイケボタル・サワガニ・マルタニシ・カリナ・サギ類・シギ、チドリ類





西地区	四十八瀬川の河川沿いや渋沢丘陵からの湧水を利用した水田が広がり、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。	
	オモダカ・ヒガンバナ・コガマ・コナギ・タガラシ・ケキツネノボタン・ワレモコウ・チョウジタテ・ミゾソハ類・ミミナグサ・ツリフネソウ・ムラサキサキゴケ・ミゾホオスギ・ミゾカクシ・ノアザミ・コオニタビラコ・カントウヨメナ・タウコギ・セリ	ヤマアカガエル・シュレーゲルアオガエル・ツチガエル・トビシヨウ・ホトケトシヨウ・タイウチ・ヒメアメンボ・シマアメンボ・オニヤンマ・ハクゲロトンボ・シオカラトンボ・ゲンジボタル・ヘイケボタル・サワガニ・マルタニシ・カリナ・サギ類
南地区	住宅街の中に点在する湧水を利用した水田や湿地があり、市内唯一の湖があるなど、貴重な水辺環境が残されています。	
	ヒガンバナ・ケキツネノボタン・ツリフネソウ・セリ	ヤマアカガエル・ホトケトシヨウ・ヒメアメンボ・シマアメンボ・オニヤンマ・ハクゲロトンボ・シオカラトンボ・サワガニ・カリナ
大根地区	弘法山の山裾には水田が広がり、ホタルなどが生息する貴重な場所となっています。畔は常に草刈りがされ、一部乾燥した水田や休耕地も点在しますが、一年を通じて湿った状態の水田が多く存在しています。	
	ヒガンバナ・ミゾソハ類・サクラタテ類・ノミノフスマ・コオニタビラコ・カントウヨメナ・セリ	シュレーゲルアオガエル・ツチガエル・トビシヨウ・ヒメアメンボ・シマアメンボ・オニヤンマ・シオカラトンボ・シオカラトンボ・サワガニ・マルタニシ・カリナ
鶴巻地区	平野部には整備された水田が広がっていますが、冬季は水のほとんどない乾田となり、一部に休耕地も点在しています。	
	オモダカ・ヒガンバナ・コナギ・タガラシ・ケキツネノボタン・チョウジタテ・ミゾソハ類・サクラタテ類・ノミノフスマ・ムラサキサキゴケ・コオニタビラコ・カントウヨメナ・セリ	トウキョウダルマガエル・ツチガエル・トビシヨウ・シオカラトンボ・マルタニシ・カリナ・サギ類





【調査地区概要と調査結果（雑木林）】

地区	地域特性	
	確認された指標植物	確認された指標動物
北地区	<p>国定公園や自然環境保全地域が広がり、良好な自然環境が残る地域でスギやヒノキの針葉樹林が多く、下草はシダ植物が繁茂しています。</p>	
	<p>カンアオイ類・ヒトリシズカ・フタリスズカ・ウラボシ・ホウチャクソウ・ホトトギス・ヤマユリ・キンラン・キンラン・シュンラン・オオハギボウシ・ヤブラン・タチツボスミレ・ヤブコウジ・リントウ・ヤマルリソウ・アキノタムラソウ・キッコウハグマ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p>	<p>モンキアゲハ・シヤコウアゲハ・キマラダヒカゲ類・クツワムシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ヒゲラシ・オヒラタシテムシ・スズメハチ類・コゲラ類</p>
東地区	<p>国定公園や自然公園、峡谷など生態系豊かな環境が広がり、良好な自然が残っている地域で、林道や散策路、環境団体等が管理している雑木林などがあります。</p>	
	<p>カンアオイ類・ヒトリシズカ・フタリスズカ・ウラボシ・ホウチャクソウ・ホトトギス・ヤマユリ・キンラン・キンラン・エビネ・シュンラン・ヤブラン・ニリンソウ・タチツボスミレ・ヤブコウジ・イチヤクソウ・リントウ・ヤマルリソウ・アキノタムラソウ・オケラ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p>	<p>アオスジアゲハ・モンキアゲハ・クロノマチョウ・ハラビロカマキリ・ハヤシノウマオイ・クツワムシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ハンミョウ・オヒラタシテムシ・スズメハチ類・カラ類・コゲラ類・タヌキ、アナグマの痕跡</p>
上地区	<p>国定公園や自然環境保全地域が広がり、良好な自然環境が残る、多様な木々や四季折々の草花が見られ、希少種も確認されています。</p>	
	<p>ヒトリシズカ・フタリスズカ・ホウチャクソウ・ホトトギス・ヤマユリ・キンラン・キンラン・シュンラン・オオハギボウシ・ヤブラン・タチツボスミレ・ヤブコウジ・リントウ・アキノタムラソウ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p>	<p>モンキアゲハ・クロノマチョウ・ハヤシノウマオイ・クツワムシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ヒゲラシ・カラ類・コゲラ類</p>





西地区	<p>北側に丹沢大山自然公園、中央部に住宅街、南側に渋沢丘陵が広がり、人の手により管理された雑木林があります。また、渋沢丘陵を中心に環境教育の場や谷戸田の自然が残されている貴重な場所となっています。</p>	<p>カンアオイ類・フタリスカ・ホウチャクソウ・ホトトギス・ヤマユリ・キンラン・キンラン・エビネ・シュンラン・オオハギホウシ・ヤブラン・ニリンソウ・タチツボスミレ・ヤブコウジ・イチヤクソウ・ヤマルソウ・アキノタムラソウ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p> <p>アオスジアゲハ・シヤコウアゲハ・オオムラサキ・キマラダヒカゲ類・クロノマチョウ・フキハッタ類・ハヤシノウマオイ・クヅワムシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ヒゲラシ・オオヒラタシテムシ・スズメハチ類・カラ類・コケラ類・タヌキ、アサグマの痕跡</p>
南地区	<p>住宅街の近くに社寺林や神奈川県探鳥地 50 選に選ばれたまとまった緑地などがあり、南側には大磯丘陵が広がっています。</p>	<p>ヒトリスカ・フタリスカ・ウラシマソウ・ホウチャクソウ・ホトトギス・ヤマユリ・キンラン・キンラン・エビネ・シュンラン・オオハギホウシ・ヤブラン・タチツボスミレ・ヤブコウジ・イチヤクソウ・リントウ・ヤマルソウ・アキノタムラソウ・キッコウハクマ・オケラ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p> <p>アオスジアゲハ・モンキアゲハ・シヤコウアゲハ・キマラダヒカゲ類・クロノマチョウ・フキハッタ類・ハヤシノウマオイ・クヅワムシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ヒゲラシ・オオヒラタシテムシ・カフトムシ・クロカナブン・スズメハチ類・カラ類・コケラ類</p>
大根地区	<p>北側に県立大山自然公園、駅周辺には商店や住宅街、市街地には自社林が点在している地域。かつてあった、クヌギやコナラは減少し、桜やイロハモミジが植林された雑木林が広がり、人の手により管理された雑木林と放置された雑木林が混在しています。</p>	<p>ヒトリスカ・フタリスカ・ホウチャクソウ・ヤマユリ・キンラン・キンラン・エビネ・シュンラン・オオハギホウシ・ヤブラン・タチツボスミレ・ヤブコウジ・イチヤクソウ・リントウ・アキノタムラソウ・オケラ・ヤブレカサ・シラヤマギク</p> <p>アオスジアゲハ・モンキアゲハ・キマラダヒカゲ類・クロノマチョウ・ハヤシノウマオイ・クヅワムシ・エゾツユムシ・ニホントビナナフシ・アブラセミ・ミンミンゼミ・ヒゲラシ・オオヒラタシテムシ・カフトムシ・スズメハチ類・カラ類・コケラ類</p>

※「地域特性」

地域ごとの調査地周辺の概要をまとめたものです。地区全体の概要説明をしているものではありません。



秦野市みどりの基本計画

令和3年（2021年）3月発行

編集発行 秦野市環境産業部環境共生課

秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-5111（代表）

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>



